

注3

大学番号：私101

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

東京電機大学 工学部 先端機械工学科、応用化学科、電子システム工学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人東京電機大学

令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 東京千住キャンパス事務部

電話番号 03-5284-5333

（夜間） 03-5284-5333

F A X 03-5284-5390

e-mail ko-kyomu@jim.dendai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について

(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

工学部

＜先端機械工学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	24
4. 既設大学等の状況	26
5. 教員組織の状況	28
6. 附帯事項等に対する履行状況等	73
7. その他全般的事項	74

＜応用化学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	77
2. 授業科目の概要	81
3. 施設・設備の整備状況、経費	98
4. 既設大学等の状況	100
5. 教員組織の状況	102
6. 附帯事項等に対する履行状況等	150
7. その他全般的事項	151

＜電子システム工学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	154
2. 授業科目の概要	158
3. 施設・設備の整備状況、経費	175
4. 既設大学等の状況	177
5. 教員組織の状況	179
6. 附帯事項等に対する履行状況等	222
7. その他全般的事項	223

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人東京電機大学

(2) 大学名

東京電機大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒120-8551
東京都足立区千住旭町5番

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カトウ ヤスタロウ) 加藤 康太郎 (平成16年3月)		
学長	(ヤスタ ヒロシ) 安田 浩 (平成28年4月)		
工学部長	(サトウ タイチ) 佐藤 太一 (平成28年4月)		
先端機械工学科長	(フジタ トシノリ) 藤田 壽憲 (平成29年4月)	(イトウ ヒロシ) 伊藤 裕 (平成30年4月)	任期満了により学科長交代(30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 先端機械工学科 学士（工学）	工学関係	4年	100人	— 年次人	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	100 (-) [-]	(-) [-]	100 (-) [-]	(-) [-]	100 (-) [-]	(-) [-]	1.12倍	—	
志願者数	() []	() []	() []	() []	1,188 (-) [9]	— (-) [-]	905 (-) [10]	— (-) [-]	1,449 ((1)) [11]	— (-) [-]			
受験者数	() []	() []	() []	() []	1,162 (-) [8]	— (-) [-]	884 (-) [9]	— (-) [-]	1,375 ((1)) [11]	— (-) [-]			
合格者数	() []	() []	() []	() []	324 (-) [4]	— (-) [-]	272 (-) [5]	— (-) [-]	362 ((1)) [2]	— (-) [-]			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	114 (-) [3]	— (-) [-]	114 (-) [5]	— (-) [-]	108 ((1)) [1]	— (-) [-]			
入学定員超過率 B/A					1.14		1.14		1.08				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	113 [3] (-)	- [-] (-)	116 [5] (3)	- [-] (-)	114 [1] (6)	- [-] (-)	【令和元年度】 3年次に編入学生1名
2年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	108 [3] (-)	- [-] (-)	110 [5] (3)	- [-] (-)	
3年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	109 [3] (-)	- [-] (-)	
4年次							[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	113 [3] (-)		224 [8] (3)		333 [9] (9)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	114 人	1 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	1 人	0 人	
平成30年度	227 人	3 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	2 人	0 人	
			平成30年度	1 人	0 人	
令和元年度	333 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
合 計		4 人		4 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{114} = \boxed{0.87} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{227} = \boxed{1.32} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{333} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学部 先端機械工学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部共通教育・人間科学科目	ジェネリックスキル・キャリア	フレッシュマンセミナー	1前・後	2							17
		文章表現法	1-2-3-4後	2							3
		論理的思考法	1-2-3-4前・後	2							2
		情報と職業	1-2-3-4前・後	2							1
		東京電機大学で学ぶ	1前	1							1
		人間科学プロジェクト	2-3-4	2							1
	人間理解	歴史理解の基礎	1-2-3-4前・後	2							1
		哲学と倫理の基礎	1-2-3-4前・後	2							3
		認知心理学	1-2-3-4前・後	2							1
		人間関係の心理	1-2-3-4前・後	2							1
		自己心理学セミナー	1-2-3-4前・後	2							4
		情報デザインと心理	1-2-3-4前・後	2							1
	社会理解	芸術	1-2-3-4前・後	2							2
		実用法律入門	1-2-3-4前・後	2							1
		日本国憲法	1-2-3-4前・後	2							1
		日本経済入門	1-2-3-4前・後	2							1
		介護福祉論	1-2-3-4前・後	2							1
		企業と社会	1-2-3-4前・後	2							1
大学と社会	1-2-3-4後	2							1		
企業と経営	1-2-3-4前・後	2							1		

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部共通教育・人間科学科目	ジェネリックスキル・キャリア	フレッシュマンセミナー	1前・後	2							8
		文章表現法	1-2-3-4後	2							2
		論理的思考法	1-2-3-4前・後	2							2
		情報と職業	1-2-3-4前・後	2							1
		東京電機大学で学ぶ	1前	1							7
		人間科学プロジェクト	2-3-4	2							1
	人間理解	歴史理解の基礎	1-2-3-4前・後	2							1
		哲学と倫理の基礎	1-2-3-4前・後	2							3
		認知心理学	1-2-3-4前・後	2							1
		人間関係の心理	1-2-3-4前・後	2							1
		自己心理学セミナー	1-2-3-4前・後	2							4
		情報デザインと心理	1-2-3-4前・後	2							1
	社会理解	芸術	1-2-3-4前・後	2							2
		実用法律入門	1-2-3-4前・後	2							1
		日本国憲法	1-2-3-4前・後	2							1
		日本経済入門	1-2-3-4前・後	2							1
		介護福祉論	1-2-3-4前・後	2							1
		企業と社会	1-2-3-4前・後	2							1
大学と社会	1-2-3-4後	2							1		
企業と経営	1-2-3-4前・後	2							1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通教育・工学基礎科目	ワークショップ	1前	2			2			1		2	
	数学	微分積分学および演習I	1前	4							21	
		線形代数学I	1前	2							22	
	物理	基礎物理学A	1前・後	2							6	
		基礎物理学B	1前・後	2							1	
		物理実験	1前・後	1							8	
	化学・生物	基礎化学	1前・後	2							1	
		化学・生物実験	1前・後	1							14	
	自然科学	自然科学概論A	1・2前・後	2							6	
		自然科学概論B	1・2前・後	2							6	
		自然科学概論C	1・2前・後	2							1	
		自然科学概論D	1・2前・後	2							2	
		自然科学概論E	1・2前・後	2							7	
		自然科学概論F	1・2前・後	2							1	
	情報	コンピュータリテラシー	1前	2							8	
		コンピュータプログラミングI	1前・後	2							9	
小計(16科目)			-	20	12	0	2	0	0	1	0	61

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通教育・工学基礎科目	ワークショップ	1前	2						1		1	2
	数学	微分積分学および演習I	1前・後	4								21
		線形代数学I	1前・後	2								17
	物理	基礎物理学A	1前・後	2								6
		基礎物理学B	1前・後	2								2
		物理実験	1前・後	1								10
	化学・生物	基礎化学	1前・後	2								16
		化学・生物実験	1前・後	1								28
	自然科学	自然科学概論A	1・2前・後	2								3
		自然科学概論B	1・2前・後	2								4
		自然科学概論C	1・2前・後	2								2
		自然科学概論D	1・2前・後	2								2
		自然科学概論E	1・2前・後	2								7
		自然科学概論F	1・2前・後	2								13
		自然科学概論G	1・2前・後	2								8
	情報	コンピュータリテラシー	1前	2								11
		コンピュータプログラミングI	1前・後	2								19
小計(17科目)			-	20	14	0	1	0	0	1	0	117

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学部共通教育・英語科目	基幹科目群	総合英語Ⅰ	1前	1								12	
		口語英語Ⅰ	1前	1								5	
		総合英語Ⅱ	1後	1								12	
		口語英語Ⅱ	1後	1								5	
		総合英語Ⅲ	2前	1								11	
		総合英語Ⅳ	2後	1								11	
	発展科目群	英語演習A	2・3期・後	1								3	
		英語演習B	2・3期・後	1								4	
		英語演習C	2・3期・後	1								2	
		英語演習D	2・3期・後	1								3	
		英語演習E	2・3期・後	1								2	
		英語演習F	3期・後	1								2	
		英語演習G	3期・後	1								2	
		英語演習H	4期・後	1								2	
		英語演習I	4期・後	1								1	
		国内英語短期研修	1・2・3・4	1								3	
	海外英語短期研修	1・2・3・4	2								1		
	小計(17科目)			-	0	18	0	0	0	0	0	0	14
	留学生科目	日本語中級ⅠA	1前	1								1	
日本語中級ⅠB		1前	1								1		
日本語中級ⅠC		1前	1								1		
日本語中級ⅡA		1後	1								1		
日本語中級ⅡB		1後	1								1		
日本語中級ⅡC		1後	1								1		
日本語上級Ⅰ		2前	1								1		
日本語上級Ⅱ		2後	1								1		
日本事情A		1後	2								1		
日本事情B		2前	2								4		
小計(10科目)			-	0	12	0	0	0	0	0	0	6	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学部共通教育・英語科目	基幹科目群	総合英語Ⅰ	1前	1								28	
		口語英語Ⅰ	1前	1								20	
		総合英語Ⅱ	1後	1								28	
		口語英語Ⅱ	1後	1								20	
		総合英語Ⅲ	2前	1								22	
		総合英語Ⅳ	2後	1								22	
	発展科目群	英語演習A	2・3期・後	1								6	
		英語演習B	2・3期・後	1								4	
		英語演習C	2・3期・後	1								4	
		英語演習D	2・3期・後	1								5	
		英語演習E	2・3期・後	1								3	
		英語演習F	3期・後	1								5	
		英語演習G	3期・後	1								4	
		英語演習H	4期・後	1								1	
		英語演習I	4期・後	1								1	
		国内英語短期研修	1・2・3・4	1								2	
	海外英語短期研修	1・2・3・4	2								1		
	小計(17科目)			-	0	18	0	0	0	0	0	0	46
	留学生科目	日本語中級ⅠA	1前	1								1	
日本語中級ⅠB		1前	1								1		
日本語中級ⅠC		1前	1								1		
日本語中級ⅡA		1後	1								1		
日本語中級ⅡB		1後	1								1		
日本語中級ⅡC		1後	1								1		
日本語上級Ⅰ		2前	1								1		
日本語上級Ⅱ		2後	1								1		
日本事情A		1後	2								1		
日本事情B		2前	2								3		
小計(10科目)			-	0	12	0	0	0	0	0	0	5	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎共通科目	微分積分学および演習Ⅱ	1後		4								1
	線形代数学Ⅱ	1後		2								1
	微分方程式Ⅰ	2前	2									1
	確率・統計Ⅰ	2後		2								1
力学	工業力学Ⅰおよび演習	1前		3		1	1		1			
	工業力学Ⅱおよび演習	1後		3		1	1		1			
	材料力学Ⅰおよび演習	2前		3		2						
	材料力学Ⅱ	2後		2		2						
	機械力学Ⅰおよび演習	3前		3		1						
	機械力学Ⅱ	3後		2		1						
	流体の力学および演習	2前		3		1						
	熱力学および演習	2後		3		1						
材料加工	材料工学	2前		2		1						
	機械材料学	2後		2		1						
	加工学基礎	2前		2		1	1					2
設計	機械のしくみ	1前		2		1						
	ワークショップⅡ	1後		2		8	1		1			1
	機構学	2前		2		1						
	機械設計学Ⅰ	3前	2				1					
	機械設計学Ⅱ	3後		2		1						
	品質管理	3後		2		1						
小計(21科目)		-	14	36	0	8	1	0	1	0	0	7

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎共通科目	微分積分学および演習Ⅱ	1後		4								5
	線形代数学Ⅱ	1後		2								5
	微分方程式Ⅰ	2前	2									1
	確率・統計Ⅰ	2後		2								1
力学	工業力学Ⅰおよび演習	1前		3				2	0		1	1
	工業力学Ⅱおよび演習	1後		3				2	1		1	1
	材料力学Ⅰおよび演習	2前		3				2			1	
	材料力学Ⅱ	2後		2				2				1
	機械力学Ⅰおよび演習	3前		3				1			1	
	機械力学Ⅱ	3後		2				1				
	流体の力学および演習	2前		3				1				
	熱力学および演習	2後		3				1			1	
材料加工	材料工学	2前		2				1				
	機械材料学	2後		2				1				
	加工学基礎	2前		2				3	0			0
設計	機械のしくみ	1前		2				1			1	
	ワークショップⅡ	1後		2				9	2		2	2
	機構学	2前		2				1				
	機械設計学Ⅰ	3前	2					1	0			
	機械設計学Ⅱ	3後		2				1				
	品質管理	3後		2				0				1
小計(21科目)		-	14	36	0	9	2	0	2	0	0	17

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 機械発展	計測・制御・光学	精密測定法Ⅰ	2後	2		1						
		精密測定法Ⅱ	3前		2	1						
		制御工学Ⅰ	3前	2		1						
		制御工学Ⅱ	3後		2	1						
		応用光学	2後		2	1						
		光学機器	3前		2	1						
	情報	プログラミングⅠ	2前		2	1						
		プログラミングⅡ	2後		2	1						
		情報処理工学	2後	2		1						
	電気・電子	メカトロニクス概論	1後		2	1						
		電気工学	2後		2	1						
		電子工学	3前		2	1						
		応用電子工学	3後		2	1						
		集積回路工学	4前		2							1
	実験実習製図	機械工学実験実習Ⅰ	2前	2			2					
		機械工学実験実習Ⅱ	2後	2			2					
		機械設計製図Ⅰ	2前	2		1			1			1
		機械設計製図Ⅱ	2後	2		1			1			1
	先端工学	先端機械工学入門	1前	1			10	1		1		
		先端精密機械加工Ⅰ	3前		2	1	1					
		先端精密機械加工Ⅱ	3後		2		1					1
		先端自動車工学	3前		2	1						1
		先端医用工学	3前		2					1		
	先端実験実習製図	先端機械実験実習Ⅰ	3前	2			2	1				
		先端機械実験実習Ⅱ	3後	2			2	1				
		先端機械設計製図Ⅰ	3前	2		1						2
先端機械設計製図Ⅱ		3後	2		1						2	
先端機械設計製図Ⅲ		4前		2	1						1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 機械発展	計測・制御・光学	精密測定法Ⅰ	2後	2		1						
		精密測定法Ⅱ	3前		2	1						
		制御工学Ⅰ	3前	2		1						
		制御工学Ⅱ	3後		2	1						
		応用光学	2後		2	0	1					1
		光学機器	3前		2	0	1					1
	情報	プログラミングⅠ	2前		2	1						
		プログラミングⅡ	2後		2	1						
		情報処理工学	2後	2		1						
	電気・電子	メカトロニクス概論	1後		2	1						
		電気工学	2後		2	1						
		電子工学	3前		2	1						
		応用電子工学	3後		2	1						
		集積回路工学	4前		2							1
	実験実習製図	機械工学実験実習Ⅰ	2前	2			2					1
		機械工学実験実習Ⅱ	2後	2			2					
		機械設計製図Ⅰ	2前	2		1		1		1		1
		機械設計製図Ⅱ	2後	2		1		1		1		1
	先端工学	先端機械工学入門	1前	1				9	2		2	
		先端精密機械加工Ⅰ	3前		2			2	0			
		先端精密機械加工Ⅱ	3後		2			2	0			3
		先端自動車工学	3前		2	1						1
		先端医用工学	3前		2				1		0	
	先端実験実習製図	先端機械実験実習Ⅰ	3前	2				3	0		1	2
		先端機械実験実習Ⅱ	3後	2				3	0		1	2
		先端機械設計製図Ⅰ	3前	2		1		1	1			2
先端機械設計製図Ⅱ		3後	2		1		1	1			2	
先端機械設計製図Ⅲ		4前		2				0			1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	その他	プレゼンテーション	3後	2		8	1		1			
		先端機械総合演習	3後	2		1						
		インターンシップ	3・4通	2		1						
		卒業研究	4通	6		8	1		1			
	教職関連科目	木材加工	2前		1							1
		栽培	2前		1							1
		職業指導	3前		2							1
		工業技術概論	3後		2							2
小計(36科目)		-	29	38	6	10	1	0	1	0	6	
合計(147科目)		-	63	206	6	10	1	0	1	0	132	
卒業要件及び履修方法												
人間科学科目16単位(技術者教養2単位、グローバル教養2単位を含む)以上、工学基礎科目20単位以上、英語科目8単位以上、専門科目76単位以上、任意選択科目4単位を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限48単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	その他	プレゼンテーション	3後	2		9	2		2			
		先端機械総合演習	3後	2		1						
		インターンシップ	3・4通	2		1						
		卒業研究	4通	6		9	1		0			
	教職関連科目	木材加工	2前		1							1
		栽培	2前		1							1
		職業指導	3前		2							1
		工業技術概論	3後		2							1
小計(36科目)		-	29	38	6	9	2	0	2	0	12	
合計(148科目)		-	63	208	6	9	2	0	2	0	242	
卒業要件及び履修方法												
人間科学科目16単位(技術者教養2単位、グローバル教養2単位を含む)以上、工学基礎科目20単位以上、英語科目8単位以上、専門科目76単位以上、任意選択科目4単位を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限48単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通教育・工学基礎科目	ワークショップ	1前	2			1			1		2	
	数学	微分積分学および演習I	1前	4							21	
		線形代数学I	1前	2							25	
	物理	基礎物理学A	1前・後	2							7	
		基礎物理学B	1前・後	2							2	
		物理実験	1前・後	1							11	
	化学・生物	基礎化学	1前・後	2							23	
		化学・生物実験	1前・後	1							21	
	自然科学	自然科学概論A	1・2前・後	2							3	
		自然科学概論B	1・2前・後	2							4	
		自然科学概論C	1・2前・後	2							2	
		自然科学概論D	1・2前・後	2							4	
		自然科学概論E	1・2前・後	2							7	
		自然科学概論F	1・2前・後	2							11	
	情報	コンピュータリテラシー	1前	2							10	
		コンピュータプログラミングI	1前・後	2							19	
小計(16科目)			-	20	12	0	1	0	0	1	0	105

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通教育・工学基礎科目	ワークショップ	1前	2			1			1		2	
	数学	微分積分学および演習I	1前・後	4							20	
		線形代数学I	1前・後	2							17	
	物理	基礎物理学A	1前・後	2							6	
		基礎物理学B	1前・後	2							2	
		物理実験	1前・後	1							11	
	化学・生物	基礎化学	1前・後	2							16	
		化学・生物実験	1前・後	1							24	
	自然科学	自然科学概論A	1・2前・後	2							3	
		自然科学概論B	1・2前・後	2							4	
		自然科学概論C	1・2前・後	2							2	
		自然科学概論D	1・2前・後	2							4	
		自然科学概論E	1・2前・後	2							7	
		自然科学概論F	1・2前・後	2							14	
		自然科学概論G	1・2前・後	2							7	
	情報	コンピュータリテラシー	1前	2							11	
		コンピュータプログラミングI	1前・後	2							20	
小計(17科目)			-	20	14	0	1	0	0	1	0	115

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通教育・英語科目	基幹科目群	総合英語Ⅰ	1前	1								20
		口語英語Ⅰ	1前	1								17
		総合英語Ⅱ	1後	1								18
		口語英語Ⅱ	1後	1								14
		総合英語Ⅲ	2前	1								11
		総合英語Ⅳ	2後	1								11
	発展科目群	英語演習A	2・3期・後	1								3
		英語演習B	2・3期・後	1								4
		英語演習C	2・3期・後	1								2
		英語演習D	2・3期・後	1								3
		英語演習E	2・3期・後	1								2
		英語演習F	3期・後	1								2
		英語演習G	3期・後	1								2
		英語演習H	4期・後	1								2
		英語演習I	4期・後	1								1
		国内英語短期研修	1・2・3・4	1								4
	海外英語短期研修	1・2・3・4	2								1	
	小計(17科目)		-	0	18	0	0	0	0	0	0	27
	留学生科目	日本語中級ⅠA	1前	1								1
日本語中級ⅠB		1前	1								1	
日本語中級ⅠC		1前	1								1	
日本語中級ⅡA		1後	1								1	
日本語中級ⅡB		1後	1								1	
日本語中級ⅡC		1後	1								1	
日本語上級Ⅰ		2前	1								1	
日本語上級Ⅱ		2後	1								1	
日本事情A		1後	2								1	
日本事情B		2前	2								3	
小計(10科目)		-	0	12	0	0	0	0	0	0	5	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通教育・英語科目	基幹科目群	総合英語Ⅰ	1前	1								28
		口語英語Ⅰ	1前	1								21
		総合英語Ⅱ	1後	1								28
		口語英語Ⅱ	1後	1								21
		総合英語Ⅲ	2前	1								22
		総合英語Ⅳ	2後	1								22
	発展科目群	英語演習A	2・3期・後	1								3
		英語演習B	2・3期・後	1								2
		英語演習C	2・3期・後	1								2
		英語演習D	2・3期・後	1								3
		英語演習E	2・3期・後	1								2
		英語演習F	3期・後	1								2
		英語演習G	3期・後	1								2
		英語演習H	4期・後	1								1
		英語演習I	4期・後	1								1
		国内英語短期研修	1・2・3・4	1								2
	海外英語短期研修	1・2・3・4	2								1	
	小計(17科目)		-	0	18	0	0	0	0	0	0	46
	留学生科目	日本語中級ⅠA	1前	1								1
日本語中級ⅠB		1前	1								1	
日本語中級ⅠC		1前	1								1	
日本語中級ⅡA		1後	1								1	
日本語中級ⅡB		1後	1								1	
日本語中級ⅡC		1後	1								1	
日本語上級Ⅰ		2前	1								1	
日本語上級Ⅱ		2後	1								1	
日本事情A		1後	2								1	
日本事情B		2前	2								3	
小計(10科目)		-	0	12	0	0	0	0	0	0	5	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎共通科目	微分積分学および演習Ⅱ	1後		4								5
	線形代数学Ⅱ	1後		2								4
	微分方程式Ⅰ	2前	2									1
	確率・統計Ⅰ	2後		2								1
力学	工業力学Ⅰおよび演習	1前		3		2	0		1			1
	工業力学Ⅱおよび演習	1後		3		2	0		2			1
	材料力学Ⅰおよび演習	2前		3		2						
	材料力学Ⅱ	2後		2		2						
	機械力学Ⅰおよび演習	3前		3		1						
	機械力学Ⅱ	3後		2		1						
	流体の力学および演習	2前		3		1						
	熱力学および演習	2後		3		1						
材料加工	材料工学	2前		2		1						
	機械材料学	2後		2		1						
	加工学基礎	2前		2		2	0					2
設計	機械のしくみ	1前		2		1						
	ワークショップⅡ	1後		2		11	0		2			2
	機構学	2前		2		1						
	機械設計学Ⅰ	3前	2			1	0					
	機械設計学Ⅱ	3後		2		1						
	品質管理	3後		2		1						
小計(21科目)	-	14	36	0	11	0	0	2	0	0	14	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎共通科目	微分積分学および演習Ⅱ	1後		4								5
	線形代数学Ⅱ	1後		2								4
	微分方程式Ⅰ	2前	2									1
	確率・統計Ⅰ	2後		2								1
力学	工業力学Ⅰおよび演習	1前		3		2	0		1			1
	工業力学Ⅱおよび演習	1後		3		1	1		1			1
	材料力学Ⅰおよび演習	2前		3		2				1		
	材料力学Ⅱ	2後		2		1						1
	機械力学Ⅰおよび演習	3前		3		1						
	機械力学Ⅱ	3後		2		1						
	流体の力学および演習	2前		3		1						
	熱力学および演習	2後		3		1						
材料加工	材料工学	2前		2		1						
	機械材料学	2後		2		1						
	加工学基礎	2前		2		3	0					0
設計	機械のしくみ	1前		2		1					1	
	ワークショップⅡ	1後		2		9	2		1			2
	機構学	2前		2		1						
	機械設計学Ⅰ	3前	2			1						
	機械設計学Ⅱ	3後		2		1						
	品質管理	3後		2		1						
小計(21科目)	-	14	36	0	9	2	0	2	0	0	14	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 機械発展	計測・制御・光学	精密測定法Ⅰ	2後	2		1						
		精密測定法Ⅱ	3前		2	1						
		制御工学Ⅰ	3前	2		1						
		制御工学Ⅱ	3後		2	1						
		応用光学	2後		2	1						
		光学機器	3前		2	1						
	情報	プログラミングⅠ	2前		2	1						
		プログラミングⅡ	2後		2	1						
		情報処理工学	2後	2		1						
	電気・電子	メカトロニクス概論	1後		2	1						
		電気工学	2後		2	1						
		電子工学	3前		2	1						
		応用電子工学	3後		2	1						
		集積回路工学	4前		2							1
	実験実習製図	機械工学実験実習Ⅰ	2前	2			2					
		機械工学実験実習Ⅱ	2後	2			2					
		機械設計製図Ⅰ	2前	2		1			1			
		機械設計製図Ⅱ	2後	2		1			1			
	先端工学	先端機械工学入門	1前	1			11	0		1		
		先端精密機械加工Ⅰ	3前		2		2	0				
		先端精密機械加工Ⅱ	3後		2		1	0				1
		先端自動車工学	3前		2	1						1
		先端医用工学	3前		2					1		
	先端実験実習製図	先端機械実験実習Ⅰ	3前	2			3	0				
		先端機械実験実習Ⅱ	3後	2			3	0				
		先端機械設計製図Ⅰ	3前	2		1						
		先端機械設計製図Ⅱ	3後	2		1						
先端機械設計製図Ⅲ		4前		2	1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目 機械発展	計測・制御・光学	精密測定法Ⅰ	2後	2		1							
		精密測定法Ⅱ	3前		2	1							
		制御工学Ⅰ	3前	2		1							
		制御工学Ⅱ	3後		2	1							
		応用光学	2後		2		0	1					0
		光学機器	3前		2		0						1
	情報	プログラミングⅠ	2前		2	1							
		プログラミングⅡ	2後		2	1							
		情報処理工学	2後	2		1							
	電気・電子	メカトロニクス概論	1後		2	1							
		電気工学	2後		2	1							
		電子工学	3前		2	1							
		応用電子工学	3後		2	1							
		集積回路工学	4前		2								1
	実験実習製図	機械工学実験実習Ⅰ	2前	2			2						
		機械工学実験実習Ⅱ	2後	2			2						
		機械設計製図Ⅰ	2前	2		1		1		0		1	
		機械設計製図Ⅱ	2後	2		1		1		1		1	
	先端工学	先端機械工学入門	1前	1				9	1		1		
		先端精密機械加工Ⅰ	3前		2		2	0					
		先端精密機械加工Ⅱ	3後		2		1	0				0	
		先端自動車工学	3前		2	1						1	
		先端医用工学	3前		2				1		0		
	先端実験実習製図	先端機械実験実習Ⅰ	3前	2			3	0					
		先端機械実験実習Ⅱ	3後	2			3	0					
		先端機械設計製図Ⅰ	3前	2		1							
		先端機械設計製図Ⅱ	3後	2		1							
先端機械設計製図Ⅲ		4前		2			0					1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	その他	プレゼンテーション	3後	2		9	0		1			
		先端機械総合演習	3後	2		1						
		インターンシップ	3・4通	2		1						
		卒業研究	4通	6		9	0		1			
	教職関連科目	木材加工	2前		1							1
		栽培	2前		1							1
		職業指導	3前		2							1
		工業技術概論	3後		2							2
小計(36科目)		-	29	38	6	11	0	0	2	0	7	
合計(147科目)		-	63	206	6	11	0	0	2	0	194	
卒業要件及び履修方法												
人間科学科目16単位(技術者教養2単位、グローバル教養2単位を含む)以上、工学基礎科目20単位以上、英語科目8単位以上、専門科目76単位以上、任意選択科目4単位を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限48単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	その他	プレゼンテーション	3後	2		9	1		0			
		先端機械総合演習	3後	2		1						
		インターンシップ	3・4通	2		1						
		卒業研究	4通	6		9	1		0			
	教職関連科目	木材加工(未開講)	2前		1							1
		栽培(未開講)	2前		1							1
		職業指導	3前		2							1
		工業技術概論	3後		2							2
小計(36科目)		-	29	38	6	9	2	0	2	0	7	
合計(148科目)		-	63	208	6	9	2	0	2	0	225	
卒業要件及び履修方法												
人間科学科目16単位(技術者教養2単位、グローバル教養2単位を含む)以上、工学基礎科目20単位以上、英語科目8単位以上、専門科目76単位以上、任意選択科目4単位を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限48単位(年間))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・担当者変更の理由により、「ワークショップ」の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当者変更および担当者昇任の理由により、「工業力学Ⅰおよび演習」の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」に変更および「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・担当者変更および担当者昇任ならびに担当者追加の理由により、「工業力学Ⅱおよび演習」の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」、「助教1」から「助教2」に変更および「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・担当者昇任の理由により、「加工学基礎」の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」へ変更。
- ・担当者変更および担当者昇任の理由により、「ワークショップⅡ」の配置を「教授8」から「教授11」、「准教授1」から「准教授0」、「助教1」から「助教2」に変更および「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・担当者昇任の理由により、「機械設計Ⅰ」の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」へ変更。
- ・担当者昇任の理由により、「先端機械工学入門」の配置を「教授10」から「教授11」に変更、および「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当者昇任の理由により、「先端精密機械加工Ⅰ」の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」へ変更。
- ・担当者昇任の理由により、「先端精密機械加工Ⅱ」の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」へ変更。
- ・担当者昇任の理由により、「先端機械実験実習Ⅰ」の配置を「教授2」から「教授3」、「准教授1」から「准教授0」へ変更。
- ・担当者昇任の理由により、「先端機械実験実習Ⅱ」の配置を「教授2」から「教授3」、「准教授1」から「准教授0」へ変更。
- ・担当者昇任の理由により、「プレゼンテーション」の配置を「教授8」から「教授9」、「准教授1」から「准教授0」へ変更。
- ・担当者昇任の理由により、「卒業研究」の配置を「教授8」から「教授9」、「准教授1」から「准教授0」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「フレッシュマンセミナー」の配置を「兼任・兼担17」から「兼任・兼担14」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「文章表現法」の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「哲学と倫理の基礎」の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「トリムスポーツⅠ」の配置を「兼任・兼担11」から「兼任・兼担13」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「トリムスポーツⅡ」の配置を「兼任・兼担11」から「兼任・兼担13」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「アウトドアスポーツA」の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「アウトドアスポーツB」の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「アウトドアスポーツC」の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎物理学A」の配置を「兼任・兼担6」から「兼任・兼担7」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎物理学B」の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「物理実験」の配置を「兼任・兼担8」から「兼任・兼担11」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎化学」の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担23」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「化学・生物実験」の配置を「兼任・兼担14」から「兼任・兼担21」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論A」の配置を「兼任・兼担6」から「兼任・兼担3」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論B」の配置を「兼任・兼担6」から「兼任・兼担4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論C」の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論D」の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論F」の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担11」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータリテラシー」の配置を「兼任・兼担8」から「兼任・兼担10」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータプログラミングⅠ」の配置を「兼任・兼担9」から「兼任・兼担19」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼担12」から「兼任・兼担20」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼担5」から「兼任・兼担17」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼担12」から「兼任・兼担18」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼担5」から「兼任・兼担14」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「国内英語短期研修」の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担4」へ変更。
- ・担当者退職の理由により、「日本事情B」の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担3」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「微分積分学および演習Ⅱ」の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担5」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「線形代数学Ⅰ」の配置を「兼任・兼担22」から「兼任・兼担25」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「線形代数学Ⅱ」の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担4」へ変更。

【平成30年度】

- ・担当者退職および担当者昇任の理由により、「工業力学Ⅱおよび演習」の配置を「教授2」から「教授1」へ変更および「准教授0」から「准教授1」へ変更。
- ・担当者追加の理由により、「材料力学Ⅰおよび演習」の配置を「助教0」から「助教1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「材料力学Ⅱ」の配置を「教授2」から「教授1」に変更および「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「加工学基礎」の配置を「教授2」から「教授3」へ変更および「兼任・兼担2」から「兼任・兼担0」へ変更。
- ・担当者追加の理由により、「機械のしくみ」の配置を「助教0」から「助教1」へ変更。
- ・担当者昇任の理由により、「ワークショップⅡ」の配置を「准教授0」から「准教授1」へ変更および「助教1」から「助教0」へ変更。
- ・担当者追加の理由により、「ワークショップⅡ」の配置を「准教授1」から「准教授2」へ変更および「助教0」から「助教1」へ変更。
- ・専任教員の退職および再雇用の理由により、「応用光学」の配置を「教授1」から「教授0」へ変更および「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「応用光学」の配置を「准教授0」から「准教授1」へ変更および「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」へ変更。
- ・専任教員の退職および再雇用の理由により、「光学機器」の配置を「教授1」から「教授0」へ変更および「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」へ変更。
- ・担当者昇任および担当者追加の理由により、「機械設計製図Ⅰ」の配置を「准教授0」から「准教授1」へ変更および「助教1」から「助教0」へ変更ならびに「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」へ変更。
- ・担当者昇任および担当者追加の理由により、「機械設計製図Ⅱ」の配置を「准教授0」から「准教授1」へ変更および「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」へ変更。
- ・担当者都合および担当者昇任ならびに担当者の退任の理由により、「先端機械工学入門」の配置を「教授11」から「教授9」に変更および「准教授0」から「准教授1」へ変更。
- ・担当者退職の理由により、「先端精密機械加工Ⅱ」の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」へ変更。
- ・担当者昇任の理由により、「先端医用工学」の配置を「准教授0」から「准教授1」へ変更および「助教1」から「助教0」へ変更。
- ・専任教員の退職および再雇用の理由により、「先端機械設計製図Ⅲ」の配置を「教授1」から「教授0」に変更および「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」へ変更。
- ・担当者昇任の理由により、「プレゼンテーション」の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更および「助教1」から「助教0」へ変更。
- ・担当者昇任の理由により、「卒業研究」の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更および「助教1」から「助教0」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「フレッシュマンセミナー」の配置を「兼任・兼担14」から「兼任・兼担13」へ変更。
- ・教育の充実のため、「人間科学プロジェクト」の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担7」へ変更。
- ・教育の充実のため、「アメリカ理解」の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」へ変更。
- ・教育の充実のため、「ドイツ語・ドイツ文化」の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「微分積分学および演習Ⅰ」の配置を「兼任・兼担21」から「兼任・兼担20」へ変更。
- ・教育の充実のため、「微分積分学および演習Ⅰ」の配当期を「1前」から「1前・後」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「線形代数学Ⅰ」の配置を「兼任・兼担25」から「兼任・兼担17」へ変更。

- ・教育の充実のため、「線形代数学Ⅰ」の配当期を「1前」から「1前・後」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎物理学A」の配置を「兼任・兼担7」から「兼任・兼担6」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎化学」の「兼任・兼担23」から「兼任・兼担16」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「化学・生物実験」の配置を「兼任・兼担21」から「兼任・兼担24」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論F」の配置を「兼任・兼担11」から「兼任・兼担14」へ変更。
- ・教育の充実の理由により、「自然科学概論G」（配当年次：1・2前・後、単位数：選択2単位）を新設し、「兼任・兼担7」を配置する。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータリテラシー」の配置を「兼任・兼担10」から「兼任・兼担11」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータプログラミングⅠ」の配置を「兼任・兼担19」から「兼任・兼担20」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼担20」から「兼任・兼担28」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼担17」から「兼任・兼担21」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼担18」から「兼任・兼担28」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼担14」から「兼任・兼担21」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅲ」の配置を「兼任・兼担11」から「兼任・兼担22」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅳ」の配置を「兼任・兼担11」から「兼任・兼担22」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習B」の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担2」へ変更。
- ・担当者退職の理由により、「英語演習H」の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「国内英語短期研修」の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担2」へ変更。

【令和元年度】

- ・教育の充実のため、「フレッシュマンセミナー」の配置を「兼任・兼担13」から「兼任・兼担8」へ変更。
- ・教育の充実のため、「東京電機大学で学ぶ」の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担7」へ変更。
- ・教育の充実のため、「人間科学プロジェクト」の配置を「兼任・兼担7」から「兼任・兼担1」へ変更。
- ・教育の充実のため、「哲学と倫理の基礎」の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」へ変更。
- ・教育の充実のため、「地球環境論」の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」へ変更。
- ・教育の充実のため、「国際政治の基礎」の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」へ変更。
- ・担当者退職の理由により、「中国語・中国文化」の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」へ変更。
- ・担当者変更及び担当者追加の理由により、「微積分学および演習Ⅰ」の配置を「兼任・兼担20」から「兼任・兼担21」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「物理実験」の配置を「兼任・兼担11」から「兼任・兼担10」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「化学・生物実験」の配置を「兼任・兼担24」から「兼任・兼担28」へ変更。
- ・教育の充実のため、「線形代数学Ⅰ」の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担5」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論D」の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論F」の配置を「兼任・兼担14」から「兼任・兼担13」へ変更。
- ・教育の充実のため、「自然科学概論G」の配置を「兼任・兼担7」から「兼任・兼担8」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータプログラミングⅠ」の配置を、「兼任・兼担20」から「兼任・兼担19」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼担21」から「兼任・兼担20」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼担21」から「兼任・兼担20」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習A」の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担6」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習B」の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習C」の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習D」の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担5」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習E」の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習F」の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担5」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習G」の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担4」へ変更。
- ・教育の充実のため、「工業力学Ⅱおよび演習」の配置を「教授1」から「教授2」へ変更。
- ・教育の充実のため、「材料力学Ⅱ」の配置を「教授1」から「教授2」へ変更。
- ・教育の充実のため、「機械力学Ⅰおよび演習」の配置を「助教0」から「助教1」へ変更。
- ・教育の充実のため、「熱力学および演習」の配置を「助教0」から「助教1」へ変更。
- ・教育の充実のため、「ワークショップⅡ」の配置を「助教1」から「助教2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「品質管理」の配置を「教授1」から「教授0」へ変更および「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」へ変更。
- ・教育の充実のため、「応用光学」の配置を、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」へ変更。
- ・教育の充実のため、「光学機器」の配置を、「准教授0」から「准教授1」へ変更。
- ・教育の充実のため、「機械工学実験実習Ⅰ」の配置を、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」へ変更。
- ・教育の充実のため、「機械設計製図Ⅰ」の配置を、「助教0」から「助教1」へ変更。
- ・教育の充実の理由により、「先端機械工学入門」の配置を「准教授1」から「准教授2」へ変更および「助教1」から「助教2」へ変更。
- ・教育の充実の理由により、「先端精密機械加工Ⅱ」の配置を「教授1」から「教授2」へ変更および「兼任・兼担0」から「兼任・兼担3」へ変更。
- ・教育の充実の理由により、「先端機械実験実習Ⅰ」の配置を「助教0」から「助教1」へ変更および「兼任・兼担0」から「兼任・兼担2」へ変更。
- ・教育の充実の理由により、「先端機械実験実習Ⅱ」の配置を「助教0」から「助教1」へ変更および「兼任・兼担0」から「兼任・兼担2」へ変更。
- ・教育の充実の理由により、「先端機械設計製図Ⅰ」の配置を「准教授0」から「准教授1」へ変更および「兼任・兼担0」から「兼任・兼担2」へ変更。
- ・教育の充実の理由により、「先端機械設計製図Ⅱ」の配置を「准教授0」から「准教授1」へ変更および「兼任・兼担0」から「兼任・兼担2」へ変更。
- ・教育の充実の理由により、「プレゼンテーション」の配置を「准教授1」から「准教授2」へ変更および「助教0」から「助教2」へ変更。
- ・担当者の変更の理由により、「工業技術概論」の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」へ変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
29 科目	114 科目	4 科目	147 科目	29 科目 [0]	115 科目 [1]	4 科目 [0]	148 科目 [1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{147} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	東京電機大学								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度		
工学部	4	610	—	2,440	—	1.11	—	—	東京都足立区千住旭町5番	定員変更(△90) 学科の設置(届出)(90) 平成29年度より学生募集停止(△80)
電気電子工学科	4	120	—	480	学士(工学)	1.10	平成29	平成19		
電子システム工学科	4	90	—	360	学士(工学)	1.10	平成29	平成29		
環境化学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	平成19		
応用化学科	4	80	—	320	学士(工学)	1.10	平成29	平成29		
機械工学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.07	平成29	平成19		
先端機械工学科	4	100	—	400	学士(工学)	1.12	平成29	平成29		
情報通信工学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.13	—	平成19	千葉県印西市武西学園台2-1200	定員変更(△100) 学科の設置(届出)(100)
工学部第二部	4	180	—	720	—	1.13	—	—		
電気電子工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.14	平成30	平成20		
機械工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.06	平成30	昭和37		
情報通信工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.19	平成30	昭和36	東京都足立区千住旭町5番	定員増(10) 2年次編入学定員(△2) 3年次編入学定員(△2)
理工学部	4	600	—	2,400	—	1.10	—	—	埼玉県比企郡鳩山町石坂	
理工学科	4	600	—	2,400	学士(理学) 学士(工学) 学士(情報学)	1.10	—	平成19		
情報環境学部	4	—	—	—	—	—	—	—	東京都足立区千住旭町5番	平成29年度より学生募集停止(△240)
情報環境学科	4	—	—	—	学士(情報環境学)	—	—	平成18		
未来科学部	4	350	—	1,400	—	1.10	—	—	東京都足立区千住旭町5番	定員変更(30)
建築学科	4	130	—	520	学士(工学)	1.09	平成29	平成19		
情報メディア学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.12	平成29	平成19	千葉県印西市武西学園台2-1200	定員変更(△15)
ロボット・メカトロニクス学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.08	平成29	平成19		
システムデザイン工学部	4	240	—	960	—	1.12	—	—	東京都足立区千住旭町5番	学部の設置(届出)(130)
情報システム工学科	4	130	—	520	学士(工学)	1.14	平成29	平成29		
デザイン工学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.09	平成29	平成29	千葉県印西市武西学園台2-1200	(110)
大学全体	4	1,980	—	7,920	—	—	—	—	—	

大学の名称	東京電機大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
大学院工学研究科修士課程	2	170	—	340	—	0.93	—	—	東京都足立区 千住旭町5番	
電気電子工学専攻	2	60	—	120	修士 (工学)	0.98	—	平成21		
物質工学専攻	2	25	—	50	修士 (工学)	1.02	—	平成3		
機械工学専攻	2	55	—	110	修士 (工学)	0.99	—	平成13		
情報通信工学専攻	2	30	—	60	修士 (工学)	0.66	—	平成2		
大学院理工学研究科修士課程	2	122	—	244	—	0.93	—	—	埼玉県比企郡 鳩山町石坂	
理学専攻	2	15	—	30	修士 (理学)	0.76	—	平成21		
生命理工学専攻	2	25	—	50	修士 (工学)	1.14	—	平成21		
情報学専攻	2	35	—	70	修士 (情報学)	0.95	—	平成21		
電子・機械工学専攻	2	35	—	70	修士 (工学)	0.95	—	平成25		
建築・都市環境学専攻	2	12	—	24	修士 (工学)	0.66	—	平成25		
大学院情報環境学研究科修士課程	2	40	—	80	—	0.66	—	—	東京都足立区 千住旭町5番	
情報環境学専攻	2	40	—	80	修士 (情報環境学)	0.66	—	平成21	千葉県印西市 武西学園台2-1200	
大学院未来科学研究科修士課程	2	145	—	290	—	0.91	—	—	東京都足立区 千住旭町5番	
建築学専攻	2	60	—	120	修士 (工学)	0.73	—	平成21		
情報メディア学専攻	2	35	—	70	修士 (工学)	0.92	—	平成21		
ロボット・メカトロニクス学専攻	2	50	—	100	修士 (工学)	1.13	—	平成21		
大学院先端科学技術研究科博士課程(後期)	3	32	—	96	—	0.32	—	—	東京都足立区 千住旭町5番 埼玉県比企郡 鳩山町石坂 千葉県印西市 武西学園台2-1200	
数理学専攻	3	3	—	9	博士 (理学)	0.22	—	平成18		
電気電子システム工学専攻	3	5	—	15	博士 (工学)	0.13	—	平成18		
情報通信メディア工学専攻	3	5	—	15	博士 (工学)	0.26	—	平成18		
機械システム工学専攻	3	5	—	15	博士 (工学)	0.40	—	平成18		
建築・建設環境工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学)	0.44	—	平成18		
物質生命理工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学) 博士 (理学)	0.44	—	平成18		
先端技術創成専攻	3	5	—	15	博士 (工学) 博士 (理学)	0.40	—	平成18		
情報学専攻	3	3	—	9	博士 (情報学)	0.44	—	平成18		
大学院全体	—	509	—	1,050	—	—	—	—		大学院の修業年限は、修士課程2年、博士課程(後期)3年である。

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (平成28年)	該 当 な し		
設 置 計 画 履 行 状 況 調 査 時 (平成29年)	・ システムデザイン工学部情報システム工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改 善 意 見	・ 退職年齢を超える者の後任人事については、学科において、当該科目分野を担当するにふさわしい教員の選考を行い、年齢構成のバランスを考慮した人材の確保に努めている。 また、平成30年度から、専任教員人事計画(新中期計画)を策定し、新中期計画を踏まえ、年次計画(教員採用計画・配置計画)を大学評議会において審議・承認した上で、教員採用を行うことで、教員組織編成の適正化を図る。
設 置 計 画 履 行 状 況 調 査 時 (平成29年)	・ 工学部先端機械工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改 善 意 見	・ 退職年齢を超える者の後任人事については、学科において、当該科目分野を担当するにふさわしい教員の選考を行い、年齢構成のバランスを考慮した人材の確保に努めている。 また、平成30年度から、専任教員人事計画(新中期計画)を策定し、新中期計画を踏まえ、年次計画(教員採用計画・配置計画)を大学評議会において審議・承認した上で、教員採用を行うことで、教員組織編成の適正化を図る。
設 置 計 画 履 行 状 況 調 査 時 (平成30年)	該 当 な し		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学部 先端機械工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 教育改善推進委員会・ 教学委員会・ 工学部運営委員会 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 教育改善推進委員会は年2回程度開催（教員委員14名、事務職員委員2名が参加）・ 教学委員会は月1回開催（教員委員14名、事務職員委員2名が参加）・ 工学部運営委員会は月1回開催（教員委員12名が参加） <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none">・ 教育改善推進委員会 教育活動の評価・改善（方策）、ファカルティ・ディベロップメント（FD）の活動状況と成果、その他教育改善に関する事項・ 教学委員会 学部の教育方針、カリキュラム・時間割、教務等に関する事項・ 工学部運営委員会 将来計画、入学試験、教務、学生厚生及び賞罰、自己点検・評価等に関する事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none">・ シラバスの作成・ FD/SDセミナー・ ステークホルダーアンケート（本学の課題）・ 新任教員オリエンテーション <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none">・ シラバスは統一されたフォーマットに基づき作成し、第三者評価を行う。・ FD/SDについては、教育改善推進室を中心に、組織的かつ全学的な活動を展開している。・ ステークホルダーアンケートは、全学的に実施し、卒業年次生・新入生・父母等の満足度を調査する。・ 新任教員オリエンテーションは、新規採用教員を対象に教員としての心構え、職務内容等について研修を行う。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・ シラバスの作成については、全科目において行う。・ 平成30年度のFD/SDセミナーは、教育改善推進室等において全7回開催し、延べ914人の参加があった。・ ステークホルダーアンケートについては、卒業年次生・新入生・父母等の満足度を調査することにより学部の課題を抽出し教授会で報告する。 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ シラバスについては、第三者評価により、記載内容や達成目標等の点検を行い、授業改善に反映させる。

- ・ FD/SDセミナーにより、PBL科目の推進、他の教育機関との連携、知の公開を図り、授業改善及び教育の質の向上に資する。
- ・ ステークホルダーアンケート結果は、教授会で報告し、教育改善推進委員会において精査し、学科・系列において具体的な改善方を策定する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 授業評価アンケートは毎年度前期及び後期の2回実施する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業評価アンケートについては、その結果を担当教員にフィードバックし、各担当教員が必要な改善を行う。また、ホームページにおいて学生への公開を行う。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

先端機械工学科は、人材養成の目的を達成するため、従来の機械技術分野に加えて、情報系、電気・電子系等の周辺分野の技術に関する基礎知識も有し、自動車や加工機械等の高精度、高性能な機械システムや、医療・福祉機器等の人にやさしい機械システムの設計・開発に必要な総合的な知識と洞察力を備えた人材を育成する。

すなわち、ワークショップ、実験、実習、CAD等の実技科目を通して経験に基づく機械技術の基礎を学ばせるとともに、医療・福祉、マイクロマシン等の先端技術分野も学ばせることで、広範な技術に柔軟に対応できる創造力を涵養することを目的として設置した。

本学科では、人材養成の目的を達成するため、従来からの機械工学の専門分野に加え、機械工学における先端的な周辺分野において、現代的ニーズを意識した幅広い専門科目を用意し、講義、演習、実験、実習を体系的に配置している。また、成績優秀者や学習意欲の高い学生には、大学院の先取り科目を設置するとともに、各種の資格取得を目指す学生には、資格関連科目を配置している。機械工学及びその先端的な周辺分野の実験・実習・ワークショップ科目を開設し、専門知識と専門技能を活用して課題解決ができる能力を培う科目を配置しており、学生の専門性を高めるための教育課程編成がなされていることは評価できる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和元年8月末頃 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和元年8月末頃を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和5年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (令和元年8月末頃 公表予定)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人東京電機大学

(2) 大学名

東京電機大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒120-8551
東京都足立区千住旭町5番

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カトウ ヤスタロウ) 加藤 康太郎 (平成16年3月)		
学長	(ヤスダ ヒロシ) 安田 浩 (平成28年4月)		
工学部長	(サトウ タイチ) 佐藤 太一 (平成28年4月)		
応用化学科長	(イシマル シンイチ) 石丸 臣一 (平成29年4月)	(スズキ タカユキ) 鈴木 隆之 (平成30年4月)	任期満了により学科長交代(30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 応用化学科 学士（工学）	工学関係	4 年	80 人	— 年次 人	320 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	80 (-) [-]	(-) [-]	80 (-) [-]	(-) [-]	80 (-) [-]	(-) [-]	1.10倍	—	
志願者数	() []	() []	() []	() []	1,344 (-) [6]	— (-) [-]	1,181 (-) [7]	— (-) [-]	1,141 (-) [8]	— (-) [-]			
受験者数	() []	() []	() []	() []	1,306 (-) [6]	— (-) [-]	1,142 (-) [6]	— (-) [-]	1,352 (-) [8]	— (-) [-]			
合格者数	() []	() []	() []	() []	402 (-) [5]	— (-) [-]	376 (-) [5]	— (-) [-]	394 (-) [2]	— (-) [-]			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	89 (-) [3]	— (-) [-]	88 (-) [4]	— (-) [-]	88 (-) [2]	— (-) [-]			
入学定員超過率 B/A					1.11		1.10		1.10				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	88 [3] (-)	— [-] (-)	89 [5] (2)	— [-] (-)	91 [3] (3)	— [-] (-)	<p>【平成30年度】 平成30年度1年次の留学生 [5名] のうち1名は留年者</p> <p>【令和元年度】 1年次の留学生 [3名] の内、1名は留年者 2年次の留学生 [4名] の内、1名は留年者</p>
2年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	83 [2] (-)	— [-] (-)	86 [4] (2)	— [-] (-)	
3年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	83 [2] (-)	— [-] (-)	
4年次							[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	88 [3] (-)	— [-] (-)	172 [7] (2)	— [-] (-)	260 [9] (5)	— [-] (-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	89人	1人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	1人	0人	
平成30年度	176人	4人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	3人	0人	
			平成30年度	1人	0人	
令和元年度	260人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
合計		5人		5人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{89} = \boxed{1.12} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{176} = \boxed{2.27} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{260} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
学部 共通 教育 ・ 工 学 基 礎 科 目	ワークショップ	2前	2			5	3	1	1		2	
	数 学	微分積分学および演習I	1前	4								21
		線形代数学I	1前	2								22
	物 理	基礎物理学A	1前・後	2								6
		基礎物理学B	1前・後	2								1
		物理実験	1前・後	1								8
	化 学 ・ 生 物	基礎化学	1前・後	2			1					
		化学・生物実験	1前・後	1			5	3	1	1		4
	自 然 科 学	自然科学概論A	1・2前・後	2								6
		自然科学概論B	1・2前・後	2								6
		自然科学概論C	1・2前・後	2								1
		自然科学概論D	1・2前・後	2			1					1
		自然科学概論E	1・2前・後	2			4	3				
		自然科学概論F	1・2前・後	2								1
	情 報	コンピュータリテラシー	1前	2								8
		コンピュータプログラミングI	1前・後	2								9
小計(16科目)			-	20	12	0	5	3	1	1	0	52

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
学部 共通 教育 ・ 工 学 基 礎 科 目	ワークショップ	2前	2			5	3	1	0	1	2	
	数 学	微分積分学および演習I	1前・後	4								21
		線形代数学I	1前・後	2								17
	物 理	基礎物理学A	1前・後	2								6
		基礎物理学B	1前・後	2								2
		物理実験	1前・後	1								10
	化 学 ・ 生 物	基礎化学	1前・後	2					2			14
		化学・生物実験	1前・後	1			5	3	1	0		19
	自 然 科 学	自然科学概論A	1・2前・後	2								3
		自然科学概論B	1・2前・後	2								4
		自然科学概論C	1・2前・後	2								2
		自然科学概論D	1・2前・後	2					0			2
		自然科学概論E	1・2前・後	2			4	3				
		自然科学概論F	1・2前・後	2								13
	自然科学概論G	1・2前・後	2								8	
	情 報	コンピュータリテラシー	1前	2								11
		コンピュータプログラミングI	1前・後	2								19
小計(17科目)			-	20	14	0	5	3	1	0	1	114

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 教育 科目	基 幹 科 目	微分方程式 I	2前	2							1
		数値解析学	2後	2							1
		微分積分学および演習Ⅱ	1後	4							1
		線形代数学Ⅱ	1後	2							1
	物 理 学	地球環境科学	2前	2							1
		物性物理学	2後	2							1
		固体物性	3前	2							1
	教 職 科 目	地学	2後	2							3
		総合物理学実験	2後		1						1
		生物学実験	2後		1	1					2
		地学実験	1前		2			1			4
		総合物理学	2前		2						1
	小計(67科目)	-	38	88	4	5	3	1	1	0	16
	合計(157科目)	-	58	220	4	5	3	1	1	0	121
	卒業要件及び履修方法										
人間科学科目16単位(技術者教養2単位、グローバル教養2単位を含む)以上、工学基礎科目20単位以上、英語科目8単位以上、専門科目76単位以上、任意選択科目4単位を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限48単位(年間))											

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 教育 科目	基 幹 科 目	微分方程式 I	2前	2							1
		数値解析学	2後	2							1
		微分積分学および演習Ⅱ	1後	4							6
		線形代数学Ⅱ	1後	2							6
	物 理 学	地球環境科学	2前	2							1
		物性物理学	2後	2							1
		固体物性	3前	2							1
	教 職 科 目	地学	2後	2							3
		総合物理学実験	2後		1						1
		生物学実験	2後		1	1					0
		地学実験	1前		2			1			4
		総合物理学	2前		2						1
	小計(67科目)	-	38	88	4	5	3	1	0	1	32
	合計(158科目)	-	58	222	4	5	3	1	0	1	229
	卒業要件及び履修方法										
人間科学科目16単位(技術者教養2単位、グローバル教養2単位を含む)以上、工学基礎科目20単位以上、英語科目8単位以上、専門科目76単位以上、任意選択科目4単位を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限48単位(年間))											

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学部 共通教育・人間科学科目	スポーツ・健康	健康と生活	1-2-3-4 前・後	2							1
		身体運動のしくみ	1-2-3-4 前・後	2							1
		トリムスポーツⅠ	1-2-3-4前	2							13
		トリムスポーツⅡ	1-2-3-4後	2							13
		体力科学演習	1-2-3-4 前・後	2							1
		アウトドアスポーツA	1-2-3-4前	1							4
		アウトドアスポーツB	1-2-3-4前	1							4
	アウトドアスポーツC	1-2-3-4後	1							4	
	技術者教養	技術者倫理	1-2-3-4 前・後	2							2
		失敗学	1-2-3-4 前・後	2							1
		情報化社会と知的財産権	1-2-3-4 前・後	2							1
		製造物責任法	1-2-3-4 前・後	2							1
		情報倫理	1-2-3-4 前・後	2							1
		情報とネットワークの経済社会	1-2-3-4 前・後	2							1
		情報化社会とコミュニケーション	1-2-3-4 前・後	2							1
		科学と技術の社会史	1-2-3-4 前・後	2							1
		科学技術と現代社会	1-2-3-4 前・後	2							1
	科学技術と企業経営	1-2-3-4 前・後	2							1	
	グローバル教養	グローバル社会の市民論	1-2-3-4 前・後	2							1
		比較文化論	1-2-3-4 前・後	2							1
		地球環境論	1-2-3-4 前・後	2							1
		国際政治の基礎	1-2-3-4 前・後	2							1
		ヨーロッパ理解	1-2-3-4 前・後	2							2
		アメリカ理解	1-2-3-4 前・後	2							1
		アジア理解	1-2-3-4 前・後	2							1
		ドイツ語・ドイツ文化	1-2-3-4 前・後	2							1
		中国語・中国文化	1-2-3-4 前・後	2							2
小計(47科目)	-	0	90	0	0	0	0	0	0	47	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学部 共通教育・人間科学科目	スポーツ・健康	健康と生活	1-2-3-4 前・後	2							1
		身体運動のしくみ	1-2-3-4 前・後	2							1
		トリムスポーツⅠ	1-2-3-4前	2							13
		トリムスポーツⅡ	1-2-3-4後	2							13
		体力科学演習	1-2-3-4 前・後	2							1
		アウトドアスポーツA	1-2-3-4前	1							4
		アウトドアスポーツB	1-2-3-4前	1							4
	アウトドアスポーツC	1-2-3-4後	1							4	
	技術者教養	技術者倫理	1-2-3-4 前・後	2							2
		失敗学	1-2-3-4 前・後	2							1
		情報化社会と知的財産権	1-2-3-4 前・後	2							1
		製造物責任法	1-2-3-4 前・後	2							1
		情報倫理	1-2-3-4 前・後	2							1
		情報とネットワークの経済社会	1-2-3-4 前・後	2							1
		情報化社会とコミュニケーション	1-2-3-4 前・後	2							1
		科学と技術の社会史	1-2-3-4 前・後	2							1
		科学技術と現代社会	1-2-3-4 前・後	2							1
	科学技術と企業経営	1-2-3-4 前・後	2							1	
	グローバル教養	グローバル社会の市民論	1-2-3-4 前・後	2							1
		比較文化論	1-2-3-4 前・後	2							1
		地球環境論	1-2-3-4 前・後	2							1
		国際政治の基礎	1-2-3-4 前・後	2							1
		ヨーロッパ理解	1-2-3-4 前・後	2							2
		アメリカ理解	1-2-3-4 前・後	2							2
		アジア理解	1-2-3-4 前・後	2							1
		ドイツ語・ドイツ文化	1-2-3-4 前・後	2							2
		中国語・中国文化	1-2-3-4 前・後	2							2
小計(47科目)	-	0	90	0	0	0	0	0	0	48	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
学部共通教育・工学基礎科目	ワークショップ	2前	2			6	2	1	1		2	
	数学	微分積分学および演習I	1前	4								21
		線形代数学I	1前	2								25
	物理	基礎物理学A	1前・後	2								7
		基礎物理学B	1前・後	2								2
		物理実験	1前・後	1								11
	化学・生物	基礎化学	1前・後	2			3					20
		化学・生物実験	1前・後	1			5	2	1	0		13
	自然科学 その他	自然科学概論A	1・2前・後	2								3
		自然科学概論B	1・2前・後	2								4
		自然科学概論C	1・2前・後	2								2
		自然科学概論D	1・2前・後	2			1					3
		自然科学概論E	1・2前・後	2			5	2				0
		自然科学概論F	1・2前・後	2								11
	情報	コンピュータリテラシー	1前	2								10
		コンピュータプログラミングI	1前・後	2								19
小計(16科目)			-	20	12	0	6	1	1	1	0	95

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
学部共通教育・工学基礎科目	ワークショップ	2前	2			5	3	1	0	1	2	
	数学	微分積分学および演習I	1前・後	4								20
		線形代数学I	1前・後	2								17
	物理	基礎物理学A	1前・後	2								6
		基礎物理学B	1前・後	2								2
		物理実験	1前・後	1								11
	化学・生物	基礎化学	1前・後	2			3					13
		化学・生物実験	1前・後	1			5	3	1	0		15
	自然科学 その他	自然科学概論A	1・2前・後	2								3
		自然科学概論B	1・2前・後	2								4
		自然科学概論C	1・2前・後	2								2
		自然科学概論D	1・2前・後	2			1					3
		自然科学概論E	1・2前・後	2			4	3				
		自然科学概論F	1・2前・後	2								14
		自然科学概論G	1・2前・後	2								7
	情報	コンピュータリテラシー	1前	2								11
		コンピュータプログラミングI	1前・後	2								20
小計(17科目)			-	20	14	0	5	3	1	0	1	108

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部共通教育・英語科目	基幹科目群	総合英語Ⅰ	1前	1							20
		口語英語Ⅰ	1前	1							17
		総合英語Ⅱ	1後	1							18
		口語英語Ⅱ	1後	1							14
		総合英語Ⅲ	2前	1							11
		総合英語Ⅳ	2後	1							11
	発展科目群	英語演習A	2・3前・後	1							3
		英語演習B	2・3前・後	1							4
		英語演習C	2・3前・後	1							2
		英語演習D	2・3前・後	1							3
		英語演習E	2・3前・後	1							2
		英語演習F	3前・後	1							2
		英語演習G	3前・後	1							2
		英語演習H	4前・後	1							2
		英語演習I	4前・後	1							1
		国内英語短期研修	1・2・3・4	1							4
		海外英語短期研修	1・2・3・4	2							1
	小計(17科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	0	27
	留学生科目	日本語中級ⅠA	1前	1							1
日本語中級ⅠB		1前	1							1	
日本語中級ⅠC		1前	1							1	
日本語中級ⅡA		1後	1							1	
日本語中級ⅡB		1後	1							1	
日本語中級ⅡC		1後	1							1	
日本語上級Ⅰ		2前	1							1	
日本語上級Ⅱ		2後	1							1	
日本事情A		1後	2							1	
日本事情B		2前	2							3	
小計(10科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0	6	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部共通教育・英語科目	基幹科目群	総合英語Ⅰ	1前	1							28
		口語英語Ⅰ	1前	1							21
		総合英語Ⅱ	1後	1							28
		口語英語Ⅱ	1後	1							21
		総合英語Ⅲ	2前	1							22
		総合英語Ⅳ	2後	1							22
	発展科目群	英語演習A	2・3前・後	1							3
		英語演習B	2・3前・後	1							2
		英語演習C	2・3前・後	1							2
		英語演習D	2・3前・後	1							3
		英語演習E	2・3前・後	1							2
		英語演習F	3前・後	1							2
		英語演習G	3前・後	1							2
		英語演習H	4前・後	1							1
		英語演習I	4前・後	1							1
		国内英語短期研修	1・2・3・4	1							2
		海外英語短期研修	1・2・3・4	2							1
	小計(17科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	0	46
	留学生科目	日本語中級ⅠA	1前	1							1
日本語中級ⅠB		1前	1							1	
日本語中級ⅠC		1前	1							1	
日本語中級ⅡA		1後	1							1	
日本語中級ⅡB		1後	1							1	
日本語中級ⅡC		1後	1							1	
日本語上級Ⅰ		2前	1							1	
日本語上級Ⅱ		2後	1							1	
日本事情A		1後	2							1	
日本事情B		2前	2							3	
小計(10科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0	6	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 教育 科目	基 幹 科 目	微分方程式 I	2前	2							1
		数値解析学	2後	2							1
		微分積分学および演習Ⅱ	1後	4							6
		線形代数学Ⅱ	1後	2							5
	物 理 学	地球環境科学	2前	2							1
		物性物理学	2後	2							1
		固体物性	3前	2							1
	教 職 科 目	地学	2後	2							3
		総合物理学実験	2後		1						1
		生物学実験	2後		1	1					2
		地学実験	1前		2			1			4
		総合物理学	2前		2						1
小計(67科目)	-	38	88	4	6	2	1	1	0	27	
合計(157科目)	-	58	220	4	6	2	1	1	0	183	
卒業要件及び履修方法											
人間科学科目16単位(技術者教養2単位、グローバル教養2単位を含む)以上、工学基礎科目20単位以上、英語科目8単位以上、専門科目76単位以上、任意選択科目4単位を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限48単位(年間))											

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 教育 科目	基 幹 科 目	微分方程式 I	2前	2							1
		数値解析学	2後	2							1
		微分積分学および演習Ⅱ	1後	4							6
		線形代数学Ⅱ	1後	2							5
	物 理 学	地球環境科学	2前	2							1
		物性物理学	2後	2							1
		固体物性	3前	2							1
	教 職 科 目	地学	2後	2							3
		総合物理学実験	2後		1						1
		生物学実験	2後		1	1					0
		地学実験	1前		2			1			4
		総合物理学	2前		2						1
小計(67科目)	-	38	88	4	5	3	1	0	1	26	
合計(158科目)	-	58	222	4	5	3	1	0	1	213	
卒業要件及び履修方法											
人間科学科目16単位(技術者教養2単位、グローバル教養2単位を含む)以上、工学基礎科目20単位以上、英語科目8単位以上、専門科目76単位以上、任意選択科目4単位を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限48単位(年間))											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・担当者変更の理由により、「フレッシュマンセミナー」の配置を「兼任・兼任17」から「兼任・兼任14」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「文章表現法」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「哲学と倫理の基礎」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「トリムスポーツⅠ」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任13」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「トリムスポーツⅡ」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任13」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「アウトドアスポーツA」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「アウトドアスポーツB」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「アウトドアスポーツC」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「線形代数学Ⅰ」の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任25」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「ワークショップ」の配置を「教授5」から「教授6」に変更および「准教授3」から「准教授2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎物理学A」の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任7」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎物理学B」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「物理実験」の配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任11」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎化学」の配置を「教授1」から「教授3」に変更および「兼任・兼任0」から「兼任・兼任20」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「化学・生物実験」の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更および「助教1」から「助教0」に変更および「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論A」の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任3」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論B」の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論C」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論D」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論E」の配置を「教授4」から「教授5」に変更および「准教授3」から「准教授2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論F」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任11」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータリテラシー」の配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任10」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータプログラミングⅠ」の配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任19」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼任12」から「兼任・兼任20」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任17」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼任12」から「兼任・兼任18」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任14」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「国内英語短期研修」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者退職の理由により、「日本事情B」の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」へ変更。
- ・専任教員新任を理由および担当者変更の理由により、「化学演習Ⅰ」の配置を「助教0」から「助教1」「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・専任教員新任および担当者変更の理由により、「化学演習Ⅱ」の配置を「助教0」から「助教1」に変更および「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・専任教員退職および新任、担当者変更により、「応用化学実験」の配置を「教授0」から「教授1」に変更および「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・職位変更の理由により、「卒業研究」の配置を「教授5」から「教授6」に変更および「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・職位変更の理由により、「応用化学総合演習Ⅱ」の配置を「教授5」から「教授6」に変更および「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・職位変更の理由により、「化学論文読解」の配置を「教授5」から「教授6」に変更および「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・職位変更の理由により、「有機化学Ⅱ」の配置を「教授1」から「教授2」に変更および「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・職位変更の理由により、「有機化学Ⅲ」の配置を「教授1」から「教授2」に変更および「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・職位変更の理由により、「有機化学実験」の配置を「教授1」から「教授2」に変更および「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・職位変更の理由により、「応用有機化学実験」の配置を「教授1」から「教授2」に変更および「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・職位変更の理由により、「高分子合成学」の配置を「教授0」から「教授1」に変更および「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「微分積分学および演習Ⅱ」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任6」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「線形代数学Ⅱ」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任5」へ変更。

【平成30年度】

- ・担当者変更の理由により、「フレッシュマンセミナー」の配置を「兼任・兼任14」から「兼任・兼任13」へ変更。
- ・教育の充実のため、「人間科学プロジェクト」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任7」へ変更。
- ・教育の充実のため、「アメリカ理解」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・教育の充実のため、「ドイツ語・ドイツ文化」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「ワークショップ」の配置を「助教1」から「助教0」に変更および「助手0」から「助手1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「微分積分学および演習Ⅰ」の配置を「兼任・兼任21」から「兼任・兼任20」へ変更。
- ・教育の充実のため、「微分積分学および演習Ⅰ」の配当期を「1前」から「1前・後」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「線形代数学Ⅰ」の配置を「兼任・兼任25」から「兼任・兼任17」へ変更。
- ・教育の充実のため、「線形代数学Ⅰ」の配当期を「1前」から「1前・後」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎物理学A」の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任6」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎化学」の配置を「兼任・兼任20」から「兼任・兼任13」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「化学・生物実験」の配置を「准教授2」から「准教授3」および「兼任・兼任13」から「兼任・兼任15」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論E」の配置を「教授5」から「教授4」および「准教授2」から「准教授3」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論F」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任14」へ変更。
- ・教育の充実のため、「自然科学概論G」(配当年次:1・2前・後、単位数:選択2単位)を新設し、「兼任・兼任7」を配置する。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータリテラシー」の配置を「兼任・兼任10」から「兼任・兼任11」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータプログラミングⅠ」の配置を「兼任・兼任19」から「兼任・兼任20」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼任20」から「兼任・兼任28」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼任17」から「兼任・兼任21」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼任18」から「兼任・兼任28」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼任14」から「兼任・兼任21」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅲ」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任22」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅳ」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任22」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習B」の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者退職の理由により、「英語演習H」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「国内英語短期研修」の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「化学Ⅰ」の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「化学Ⅱ」の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「有機化学Ⅰ」の配置を「助手0」から「助手1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「有機化学Ⅱ」の配置を「教授2」から「教授1」に変更および「准教授0」から「准教授1」へ変更および「助手0」から「助手1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「有機化学Ⅲ」の配置を「教授2」から「教授1」に変更および「准教授0」から「准教授1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「応用化学実験」の配置を「助手1」から「助手0」に変更および「助手0」から「助手1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「応用有機化学実験」の配置を「教授1」から「教授2」に変更および「准教授0」から「准教授1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「無機・分析化学実験」の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更および「助教1」から「助教0」に変更および「助手0」から「助手1」へ変更。

- ・担当者変更の理由により、「生物学実験」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任0」に変更。
- ・専任教員退職の理由により、「環境物質学」の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・専任教員退職の理由により、「卒業研究」の配置を「准教授3」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員退職の理由により、「応用化学総合演習Ⅰ」の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・専任教員退職の理由により、「応用化学総合演習Ⅱ」の配置を「教授6」から「教授5」へ変更および「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員退職の理由により、「化学論文読解」の配置を「教授6」から「教授5」に変更および「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員退職の理由により、「応用無機・分析化学実験」の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・教育の充実のため、「物理化学実験」の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更および「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・専任教員新任の理由により、「有機化学演習A」の配置を「助教1」から「助教0」に変更および「助手0」から「助手1」に変更。
- ・担当者変更の理由により「有機化学演習B」の配置を「助教1」から「助教0」に変更および「助手0」から「助手1」に変更。
- ・担当者変更の理由により「有機化学実験」の配置を「教授2」から「教授1」に変更および「准教授0」から「准教授1」「助教1」から「助教0」に変更および「助手0」から「助手1」に変更および「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・専任教員新任の理由により、「分子生物学」の配置を「教授0」から「教授1」に変更および「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。

【令和元年度】

- ・担当者変更の理由により、「フレッシュマンセミナー」の配置を「兼任・兼任13」から「兼任・兼任8」へ変更。
- ・教育の充実のため、「東京電機大学で学ぶ」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任7」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「人間科学プロジェクト」の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・教育の充実のため、「哲学と倫理の基礎」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」へ変更。
- ・教育の充実のため、「地球環境論」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・教育の充実のため、「国際政治の基礎」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者退職の理由により、「中国語・中国文化」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・担当者変更及び担当者追加の理由により、「微積分学および演習Ⅰ」の配置を「兼任・兼任20」から「兼任・兼任21」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「物理実験」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任10」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎化学」の配置を「教授3」から「教授2」に変更および「兼任・兼任13」から「兼任・兼任14」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「化学・生物実験」の配置を「兼任・兼任15」から「兼任・兼任19」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論D」の配置を「教授1」から「教授0」、「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論F」の配置を「兼任・兼任14」から「兼任・兼任13」へ変更。
- ・教育の充実のため、「自然科学概論G」の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任8」へ変更。
- ・担当者変更及び担当者追加の理由により、「線形代数Ⅰ」の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任6」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータプログラミングⅠ」の配置を、「兼任・兼任20」から「兼任・兼任19」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼任21」から「兼任・兼任20」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼任21」から「兼任・兼任20」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習A」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任6」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習B」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習C」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習D」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任5」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習E」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任5」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習F」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任5」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習G」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・教育の充実のため、「応用化学実験」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」へ変更。
- ・教育の充実のため、「環境物質学」の配置を「准教授0」から「准教授1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により「応用化学総合演習Ⅱ」の配置を「准教授1」から「准教授3」に変更および「講師1」から「講師0」に変更および「兼任・兼任2」から「兼任・兼任0」に変更。
- ・教育の充実のため、「化学論文読解」の配置を「准教授1」から「准教授3」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「物理化学実験」の配置を「准教授1」から「准教授0」へ変更。
- ・教育の充実のため、「応用物理化学実験」の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「機器分析学演習」の「教授1」から「教授0」に変更および「兼任・兼任0」から「兼任・兼任」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「有機化学Ⅰ」の配置を「助手1」から「助手0」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「有機化学Ⅱ」の配置を「助手1」から「助手0」へ変更。
- ・教育の充実のため、「応用有機化学実験」の配置を「助手0」から「助手1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「有機合成化学」の配置を「教授1」から「教授0」に変更および「准教授0」から「准教授1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「無機・分析化学実験」の配置を「准教授2」から「准教授1」へ変更。
- ・教育の充実のため、「応用無機・分析化学実験」の配置を「助手0」から「助手1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「分子生物学」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任0」へ変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
31 科目	123 科目	3 科目	157 科目	31 科目	124 科目	3 科目	158 科目	
				[0]	[1]	[0]	[1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{157} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	東京電機大学								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度		
工学部	4	610	—	2,440	—	1.11	—	—	東京都足立区千住旭町5番	定員変更(△90) 学科の設置(届出)(90) 平成29年度より学生募集停止(△80)
電気電子工学科	4	120	—	480	学士(工学)	1.10	平成29	平成19		
電子システム工学科	4	90	—	360	学士(工学)	1.10	平成29	平成29		
環境化学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	平成19		
応用化学科	4	80	—	320	学士(工学)	1.10	平成29	平成29		
機械工学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.07	平成29	平成19		
先端機械工学科	4	100	—	400	学士(工学)	1.12	平成29	平成29		
情報通信工学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.13	—	平成19	千葉県印西市武西学園台2-1200	定員変更(△100) 学科の設置(届出)(100)
工学部第二部	4	180	—	720	—	1.13	—	—		
電気電子工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.14	平成30	平成20		
機械工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.06	平成30	昭和37		
情報通信工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.19	平成30	昭和36	東京都足立区千住旭町5番	定員増(10) 2年次編入学定員(△2) 3年次編入学定員(△2)
理工学部	4	600	—	2,400	—	1.10	—	—	埼玉県比企郡鳩山町石坂	
理工学科	4	600	—	2,400	学士(理学) 学士(工学) 学士(情報学)	1.10	—	平成19		
情報環境学部	4	—	—	—	—	—	—	—	東京都足立区千住旭町5番	平成29年度より学生募集停止(△240)
情報環境学科	4	—	—	—	学士(情報環境学)	—	—	平成18		
未来科学部	4	350	—	1,400	—	1.10	—	—	東京都足立区千住旭町5番	定員変更(30)
建築学科	4	130	—	520	学士(工学)	1.09	平成29	平成19		
情報メディア学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.12	平成29	平成19	千葉県印西市武西学園台2-1200	定員変更(△15)
ロボット・メカトロニクス学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.08	平成29	平成19		
システムデザイン工学部	4	240	—	960	—	1.12	—	—	東京都足立区千住旭町5番	学部の設置(届出)(130)
情報システム工学科	4	130	—	520	学士(工学)	1.14	平成29	平成29		
デザイン工学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.09	平成29	平成29	千葉県印西市武西学園台2-1200	(110)
大学全体	4	1,980	—	7,920	—	—	—	—	—	

大学の名称	東京電機大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
大学院工学研究科修士課程	2	170	—	340	—	0.93	—	—	東京都足立区 千住旭町5番	
電気電子工学専攻	2	60	—	120	修士 (工学)	0.98	—	平成21		
物質工学専攻	2	25	—	50	修士 (工学)	1.02	—	平成3		
機械工学専攻	2	55	—	110	修士 (工学)	0.99	—	平成13		
情報通信工学専攻	2	30	—	60	修士 (工学)	0.66	—	平成2		
大学院理工学研究科修士課程	2	122	—	244	—	0.93	—	—	埼玉県比企郡 鳩山町石坂	
理学専攻	2	15	—	30	修士 (理学)	0.76	—	平成21		
生命理工学専攻	2	25	—	50	修士 (工学)	1.14	—	平成21		
情報学専攻	2	35	—	70	修士 (情報学)	0.95	—	平成21		
電子・機械工学専攻	2	35	—	70	修士 (工学)	0.95	—	平成25		
建築・都市環境学専攻	2	12	—	24	修士 (工学)	0.66	—	平成25		
大学院情報環境学研究科修士課程	2	40	—	80	—	0.66	—	—	東京都足立区 千住旭町5番	
情報環境学専攻	2	40	—	80	修士 (情報環境学)	0.66	—	平成21	千葉県印西市 武西学園台2- 1200	
大学院未来科学研究科修士課程	2	145	—	290	—	0.91	—	—	東京都足立区 千住旭町5番	
建築学専攻	2	60	—	120	修士 (工学)	0.73	—	平成21		
情報メディア学専攻	2	35	—	70	修士 (工学)	0.92	—	平成21		
ロボット・メカトロニクス学専攻	2	50	—	100	修士 (工学)	1.13	—	平成21		
大学院先端科学技術研究科博士課程(後期)	3	32	—	96	—	0.32	—	—	東京都足立区 千住旭町5番 埼玉県比企郡 鳩山町石坂 千葉県印西市 武西学園台2- 1200	
数理学専攻	3	3	—	9	博士 (理学)	0.22	—	平成18		
電気電子システム工学専攻	3	5	—	15	博士 (工学)	0.13	—	平成18		
情報通信メディア工学専攻	3	5	—	15	博士 (工学)	0.26	—	平成18		
機械システム工学専攻	3	5	—	15	博士 (工学)	0.40	—	平成18		
建築・建設環境工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学)	0.44	—	平成18		
物質生命理工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学) 博士 (理学)	0.44	—	平成18		
先端技術創成専攻	3	5	—	15	博士 (工学) 博士 (理学)	0.40	—	平成18		
情報学専攻	3	3	—	9	博士 (情報学)	0.44	—	平成18		
大学院全体	—	509	—	1,050	—	—	—	—		大学院の修業年限は、修士課程2年、博士課程(後期)3年である。

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (平成28年)	該 当 な し		
設 置 計 画 履 行 状 況 調 査 時 (平成29年)	・ システムデザイン工学部情報システム工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改 善 意 見	・ 退職年齢を超える者の後任人事については、学科において、当該科目分野を担当するにふさわしい教員の選考を行い、年齢構成のバランスを考慮した人材の確保に努めている。 また、平成30年度から、専任教員人事計画(新中期計画)を策定し、新中期計画を踏まえ、年次計画(教員採用計画・配置計画)を大学評議会において審議・承認した上で、教員採用を行うことで、教員組織編成の適正化を図る。
設 置 計 画 履 行 状 況 調 査 時 (平成29年)	・ 工学部先端機械工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改 善 意 見	・ 退職年齢を超える者の後任人事については、学科において、当該科目分野を担当するにふさわしい教員の選考を行い、年齢構成のバランスを考慮した人材の確保に努めている。 また、平成30年度から、専任教員人事計画(新中期計画)を策定し、新中期計画を踏まえ、年次計画(教員採用計画・配置計画)を大学評議会において審議・承認した上で、教員採用を行うことで、教員組織編成の適正化を図る。
設 置 計 画 履 行 状 況 調 査 時 (平成30年)	該 当 な し		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学部 応用化学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ 教育改善推進委員会
- ・ 教学委員会
- ・ 工学部運営委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 教育改善推進委員会は年2回程度開催（教員委員14名、事務職員委員2名が参加）
- ・ 教学委員会は月1回開催（教員委員14名、事務職員委員2名が参加）
- ・ 工学部運営委員会は月1回開催（教員委員12名が参加）

c 委員会の審議事項等

- ・ 教育改善推進委員会
教育活動の評価・改善（方策）、ファカルティ・ディベロップメント（FD）の活動状況と成果、その他教育改善に関する事項
- ・ 教学委員会
学部の教育方針、カリキュラム・時間割、教務等に関する事項
- ・ 工学部運営委員会
将来計画、入学試験、教務、学生厚生及び賞罰、自己点検・評価等に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ シラバスの作成
- ・ FD/SDセミナー
- ・ ステークホルダーアンケート（本学の課題）
- ・ 新任教員オリエンテーション

b 実施方法

- ・ シラバスは統一されたフォーマットに基づき作成し、第三者評価を行う。
- ・ FD/SDについては、教育改善推進室を中心に、組織的かつ全学的な活動を展開している。
- ・ ステークホルダーアンケートは、全学的に実施し、卒業年次生・新入生・父母等の満足度を調査する。
- ・ 新任教員オリエンテーションは、新規採用教員を対象に教員としての心構え、職務内容等について研修を行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ シラバスの作成については、全科目において行う。
- ・ 平成30年度のFD/SDセミナーは、教育改善推進室等において全7回開催し、延べ914人の参加があった。
- ・ ステークホルダーアンケートについては、卒業年次生・新入生・父母等の満足度を調査することにより学部の課題を抽出し教授会で報告する。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ シラバスについては、第三者評価により、記載内容や達成目標等の点検を行い、授業改善に反映させる。

- ・ FD/SDセミナーにより、PBL科目の推進、他の教育機関との連携、知の公開を図り、授業改善及び教育の質の向上に資する。
- ・ ステークホルダーアンケート結果は、教授会で報告し、教育改善推進委員会において精査し、学科・系列において具体的な改善方を策定する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 授業評価アンケートは毎年度前期及び後期の2回実施する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業評価アンケートについては、その結果を担当教員にフィードバックし、各担当教員が必要な改善を行う。また、ホームページにおいて学生への公開を行う。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>応用化学科は、工学における応用化学分野に関する基礎から応用までの知識と技術を有し、安全で快適な持続可能な社会の構築に貢献することのできる思考力と創造力豊かで応用力を有する人材を育成する。</p> <p>すなわち、現代社会の基幹を構成し将来に亘って必要とされる応用化学分野において、教育研究を通じて学ばせることにより、様々な状況に順応できる優秀な技術者を育成することを目的として設置した。</p> <p>本学科では、人材養成の目的を達成するため、「有機化学」「無機・分析化学」「物理化学」「化学工学」の4分野を柱に、現代的ニーズを意識した幅広い専門科目を用意し、講義、演習、実験、実習を体系的に配置している。また、成績優秀者や学習意欲の高い学生には、大学院の先取り科目を設置するとともに、各種の資格取得を目指す学生には、資格関連科目を配置している。専門知識と専門技能を活用して課題解決ができる能力を培うために、多数の実験・実習・ワークショップ科目を開設しており、学生の専門性を高めるための教育課程編成がなされていることは評価できる。</p>
<p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>・令和元年8月末頃 公表予定</p> <p>b 公表方法</p> <p>・大学ホームページ上に公開予定（令和元年8月末頃を予定）</p>
<p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>・令和5年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審予定</p>

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）</p> <p>a ホームページへの公表予定の有無 （ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ）</p> <p>b 公表有の場合の公表（予定）時期 （令和元年8月末頃 公表予定）</p> <p>b 公表無の場合の特段の理由 （ ）</p>
--

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人東京電機大学

(2) 大学名

東京電機大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒120-8551
東京都足立区千住旭町5番

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カトウ ヤスタロウ) 加藤 康太郎 (平成16年3月)		
学長	(ヤスダ ヒロシ) 安田 浩 (平成28年4月)		
工学部長	(サトウ タイチ) 佐藤 太一 (平成28年4月)		
電子システム工学科長	(タドコロ タカシ) 田所 貴志 (平成29年4月)	(ニシカワ タダシ) 西川 正 (平成30年4月) (ヤマモト オウ) 山本 欧 (平成31年4月)	任期満了により学科長交代(30) 西川 正の工学研究科委員長就任に伴う学科長交代(元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 電子システム工学科 学士（工学）	工学関係	4年	90人	— 年次人	360人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	90 (-) [-]	(-) [-]	90 (-) [-]	(-) [-]	90 (-) [-]	(-) [-]	1.10倍	—	
志願者数	() []	() []	() []	() []	923 (-) [5]	(-) [-]	976 (-) [3]	(-) [-]	1,190 ((1)) [1]	(-) [-]			
受験者数	() []	() []	() []	() []	890 (-) [5]	(-) [-]	937 (-) [2]	(-) [-]	1,120 ((1)) [1]	(-) [-]			
合格者数	() []	() []	() []	() []	289 (-) [3]	(-) [-]	250 (-) [0]	(-) [-]	285 ((1)) [0]	(-) [-]			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	98 (-) [2]	(-) [-]	101 (-) [0]	(-) [-]	99 ((1)) [0]	(-) [-]			
入学定員超過率 B/A					1.08		1.12		1.10				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期									
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	97 (-)	- (-)	103 (3)	- (-)	106 (7)	- (-)	【平成30年度】 平成30年度1年次の留学生 [1名] は、留年者 平成30年度2年次のうち転学部3人 【令和元年度】 2年次に転学部生1名 3年次に編入学生1名 2年次の留学生 [1名] は、留年者
2年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	94 (-)	- (-)	97 (2)	- (-)	
3年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	95 (-)	- (-)	
4年次							[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	97 (-)		197 (3)		298 (9)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	98 人	1 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	1 人	0 人	
平成30年度	201 人	4 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	3 人	0 人	
			平成30年度	1 人	0 人	
令和元年度	298 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
合 計		5 人		5 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{98} = \boxed{1.02} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{201} = \boxed{1.99} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{298} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部共通教育・人間科学科目	技術者倫理	1-2-3-4 前・後	2								2
	失敗学	1-2-3-4 前・後	2								1
	情報化社会と知的財産権	1-2-3-4 前・後	2								1
	製造物責任法	1-2-3-4 前・後	2								1
	情報倫理	1-2-3-4 前・後	2								1
	情報とネットワークの経済社会	1-2-3-4 前・後	2								1
	情報化社会とコミュニケーション	1-2-3-4 前・後	2								1
	科学と技術の社会史	1-2-3-4 前・後	2								1
	科学技術と現代社会	1-2-3-4 前・後	2								1
	科学技術と企業経営	1-2-3-4 前・後	2								1
	グローバル社会の市民論	1-2-3-4 前・後	2								1
	比較文化論	1-2-3-4 前・後	2								1
	地球環境論	1-2-3-4 前・後	2								1
	国際政治の基礎	1-2-3-4 前・後	2								1
	ヨーロッパ理解	1-2-3-4 前・後	2								2
	アメリカ理解	1-2-3-4 前・後	2								1
	アジア理解	1-2-3-4 前・後	2								1
ドイツ語・ドイツ文化	1-2-3-4 前・後	2								1	
中国語・中国文化	1-2-3-4 前・後	2								2	
小計(47科目)	-	0	90	0	0	0	0	0	0	0	42

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部共通教育・人間科学科目	技術者倫理	1-2-3-4 前・後	2								2
	失敗学	1-2-3-4 前・後	2								1
	情報化社会と知的財産権	1-2-3-4 前・後	2								1
	製造物責任法	1-2-3-4 前・後	2								1
	情報倫理	1-2-3-4 前・後	2								1
	情報とネットワークの経済社会	1-2-3-4 前・後	2								1
	情報化社会とコミュニケーション	1-2-3-4 前・後	2								1
	科学と技術の社会史	1-2-3-4 前・後	2								1
	科学技術と現代社会	1-2-3-4 前・後	2								1
	科学技術と企業経営	1-2-3-4 前・後	2								1
	グローバル社会の市民論	1-2-3-4 前・後	2								1
	比較文化論	1-2-3-4 前・後	2								1
	地球環境論	1-2-3-4 前・後	2								2
	国際政治の基礎	1-2-3-4 前・後	2								2
	ヨーロッパ理解	1-2-3-4 前・後	2								2
	アメリカ理解	1-2-3-4 前・後	2								2
	アジア理解	1-2-3-4 前・後	2								1
ドイツ語・ドイツ文化	1-2-3-4 前・後	2								2	
中国語・中国文化	1-2-3-4 前・後	2								1	
小計(47科目)	-	0	90	0	1	0	0	1	0	0	55

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通教育・工学基礎科目	ワークショップ	1前	2			1	1		2			
	数学	微分積分学および演習I	1前	4								21
		線形代数学I	1前	2								22
	物理	基礎物理学A	1前・後	2								6
		基礎物理学B	1前・後	2								1
		物理実験	1前・後	1								8
	化学・生物	基礎化学	1前・後	2								1
		化学・生物実験	1前・後	1								14
	自然科学	自然科学概論A	1・2前・後		2							6
		自然科学概論B	1・2前・後		2							6
		自然科学概論C	1・2前・後		2							1
		自然科学概論D	1・2前・後		2							2
		自然科学概論E	1・2前・後		2							7
		自然科学概論F	1・2前・後		2							1
	情報	コンピュータリテラシー	1前	2								8
		コンピュータプログラミングI	1前・後	2								9
小計(16科目)			-	20	12	0	1	1	0	2	0	61

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学部共通教育・工学基礎科目	ワークショップ	1前	2				0	1		2		1	
	数学	微分積分学および演習I	1前・後	4									21
		線形代数学I	1前・後	2									17
	物理	基礎物理学A	1前・後	2									6
		基礎物理学B	1前・後	2									2
		物理実験	1前・後	1									10
	化学・生物	基礎化学	1前・後	2									16
		化学・生物実験	1前・後	1									28
	自然科学	自然科学概論A	1・2前・後		2								3
		自然科学概論B	1・2前・後		2								4
		自然科学概論C	1・2前・後		2								2
		自然科学概論D	1・2前・後		2								2
		自然科学概論E	1・2前・後		2								7
		自然科学概論F	1・2前・後		2								13
		自然科学概論G	1・2前・後		2								8
	情報	コンピュータリテラシー	1前	2					1				10
		コンピュータプログラミングI	1前・後	2					1				18
小計(17科目)			-	20	14	0	0	2	0	2	0	121	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学部共通教育・英語科目	基幹科目群	総合英語 I	1前	1							12		
		口語英語 I	1前	1							5		
		総合英語 II	1後	1							12		
		口語英語 II	1後	1							5		
		総合英語 III	2前	1							11		
		総合英語 IV	2後	1							11		
	発展科目群	英語演習 A	2・3 前・後	1							3		
		英語演習 B	2・3 前・後	1							4		
		英語演習 C	2・3 前・後	1							2		
		英語演習 D	2・3 前・後	1							3		
		英語演習 E	2・3 前・後	1							2		
		英語演習 F	3前・後	1							2		
		英語演習 G	3前・後	1							2		
		英語演習 H	4前・後	1							2		
		英語演習 I	4前・後	1							1		
		国内英語短期研修	1・2・ 3・4	1							3		
		海外英語短期研修	1・2・ 3・4	2							1		
		小計(17科目)			-	0	18	0	0	0	0	0	14
		留学生科目	日本語中級 I A	1前	1							1	
日本語中級 I B	1前		1							1			
日本語中級 I C	1前		1							1			
日本語中級 II A	1後		1							1			
日本語中級 II B	1後		1							1			
日本語中級 II C	1後		1							1			
日本語上級 I	2前		1							1			
日本語上級 II	2後		1							1			
日本事情 A	1後		2							1			
日本事情 B	2前		2							4			
小計(10科目)			-	0	12	0	0	0	0	0	7		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学部共通教育・英語科目	基幹科目群	総合英語 I	1前	1							28		
		口語英語 I	1前	1							20		
		総合英語 II	1後	1							28		
		口語英語 II	1後	1							20		
		総合英語 III	2前	1							22		
		総合英語 IV	2後	1							22		
	発展科目群	英語演習 A	2・3 前・後	1							6		
		英語演習 B	2・3 前・後	1							4		
		英語演習 C	2・3 前・後	1							4		
		英語演習 D	2・3 前・後	1							5		
		英語演習 E	2・3 前・後	1							3		
		英語演習 F	3前・後	1							5		
		英語演習 G	3前・後	1							4		
		英語演習 H	4前・後	1							1		
		英語演習 I	4前・後	1							1		
		国内英語短期研修	1・2・ 3・4	1							2		
		海外英語短期研修	1・2・ 3・4	2							1		
		小計(17科目)			-	0	18	0	0	0	0	0	46
		留学生科目	日本語中級 I A	1前	1							1	
日本語中級 I B	1前		1							1			
日本語中級 I C	1前		1							1			
日本語中級 II A	1後		1							1			
日本語中級 II B	1後		1							1			
日本語中級 II C	1後		1							1			
日本語上級 I	2前		1							1			
日本語上級 II	2後		1							1			
日本事情 A	1後		2							1			
日本事情 B	2前		2							3			
小計(10科目)			-	0	12	0	0	0	0	0	6		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	木材加工	2前			1							1
	栽培	2前			1							1
	職業指導	3前			2							1
	工業技術概論	3後			2							2
	小計(67科目)	-	32	98	10	6	2	0	2	0	0	26
合計(157科目)	-	52	230	10	6	2	0	2	0	0	141	
卒業要件及び履修方法												
人間科学科目16単位(技術者教養2単位、グローバル教養2単位を含む)以上、工学基礎科目20単位以上、英語科目8単位以上、専門科目76単位以上、任意選択科目4単位を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限48単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	木材加工	2前			1							1
	栽培	2前			1							1
	職業指導	3前			2							1
	工業技術概論	3後			2							1
	機械のしくみ	2前			1	1						
	加工学基礎	2前			2							1
小計(69科目)	-	32	98	13	6	2	0	2	0	2	36	
合計(160科目)	-	52	232	13	6	2	0	2	0	2	243	
卒業要件及び履修方法												
人間科学科目16単位(技術者教養2単位、グローバル教養2単位を含む)以上、工学基礎科目20単位以上、英語科目8単位以上、専門科目76単位以上、任意選択科目4単位を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限48単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通教育・工学基礎科目	ワークショップ	1前	2			1	1		2			
	数学	微分積分学および演習I	1前	4							21	
		線形代数学I	1前	2							25	
	物理	基礎物理学A	1前・後	2							7	
		基礎物理学B	1前・後	2							2	
		物理実験	1前・後	1							11	
	化学・生物	基礎化学	1前・後	2							23	
		化学・生物実験	1前・後	1							21	
	自然科学	その他	自然科学概論A	1・2前・後	2							3
			自然科学概論B	1・2前・後	2							4
			自然科学概論C	1・2前・後	2							2
			自然科学概論D	1・2前・後	2							4
			自然科学概論E	1・2前・後	2							7
			自然科学概論F	1・2前・後	2							11
	情報	コンピュータリテラシー	1前	2			1				9	
		コンピュータプログラミングI	1前・後	2			1				18	
小計(16科目)			-	20	12	0	2	1	0	2	0	103

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通教育・工学基礎科目	ワークショップ	1前	2			0	1		1		1	
	数学	微分積分学および演習I	1前・後	4							20	
		線形代数学I	1前・後	2							17	
	物理	基礎物理学A	1前・後	2							6	
		基礎物理学B	1前・後	2							2	
		物理実験	1前・後	1							11	
	化学・生物	基礎化学	1前・後	2							16	
		化学・生物実験	1前・後	1							24	
	自然科学	その他	自然科学概論A	1・2前・後	2							3
			自然科学概論B	1・2前・後	2							4
			自然科学概論C	1・2前・後	2							2
			自然科学概論D	1・2前・後	2							4
			自然科学概論E	1・2前・後	2							7
			自然科学概論F	1・2前・後	2							14
			自然科学概論G	1・2前・後	2							7
	情報	コンピュータリテラシー	1前	2			1				10	
		コンピュータプログラミングI	1前・後	2			1				19	
小計(17科目)			-	20	14	0	1	1	0	1	0	116

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通教育・英語科目	基幹科目群	総合英語 I	1前	1							20	
		口語英語 I	1前	1							17	
		総合英語 II	1後	1							18	
		口語英語 II	1後	1							14	
		総合英語 III	2前	1							11	
		総合英語 IV	2後	1							11	
	発展科目群	英語演習 A	2・3期・後	1							3	
		英語演習 B	2・3期・後	1							4	
		英語演習 C	2・3期・後	1							2	
		英語演習 D	2・3期・後	1							3	
		英語演習 E	2・3期・後	1							2	
		英語演習 F	3期・後	1							2	
		英語演習 G	3期・後	1							2	
		英語演習 H	4期・後	1							2	
		英語演習 I	4期・後	1							1	
		国内英語短期研修	1・2・3・4	1							4	
	海外英語短期研修	1・2・3・4	2							1		
	小計(17科目)			-	0	18	0	0	0	0	0	27
	留学生科目	日本語中級 I A	1前	1							1	
日本語中級 I B		1前	1							1		
日本語中級 I C		1前	1							1		
日本語中級 II A		1後	1							1		
日本語中級 II B		1後	1							1		
日本語中級 II C		1後	1							1		
日本語上級 I		2前	1							1		
日本語上級 II		2後	1							1		
日本事情 A		1後	2							1		
日本事情 B		2前	2							3		
小計(10科目)			-	0	12	0	0	0	0	0	6	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通教育・英語科目	基幹科目群	総合英語 I	1前	1							28	
		口語英語 I	1前	1							21	
		総合英語 II	1後	1							28	
		口語英語 II	1後	1							21	
		総合英語 III	2前	1							22	
		総合英語 IV	2後	1							22	
	発展科目群	英語演習 A	2・3期・後	1							3	
		英語演習 B	2・3期・後	1							2	
		英語演習 C	2・3期・後	1							2	
		英語演習 D	2・3期・後	1							3	
		英語演習 E	2・3期・後	1							2	
		英語演習 F	3期・後	1							2	
		英語演習 G	3期・後	1							2	
		英語演習 H	4期・後	1							1	
		英語演習 I	4期・後	1							1	
		国内英語短期研修	1・2・3・4	1							2	
	海外英語短期研修	1・2・3・4	2							1		
	小計(17科目)			-	0	18	0	0	0	0	0	46
	留学生科目	日本語中級 I A	1前	1							1	
日本語中級 I B		1前	1							1		
日本語中級 I C		1前	1							1		
日本語中級 II A		1後	1							1		
日本語中級 II B		1後	1							1		
日本語中級 II C		1後	1							1		
日本語上級 I		2前	1							1		
日本語上級 II		2後	1							1		
日本事情 A		1後	2							1		
日本事情 B		2前	2							3		
小計(10科目)			-	0	12	0	0	0	0	0	6	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎共通科目	微分積分学および演習Ⅱ	1後		4								6
	線形代数学Ⅱ	1後		2								5
	微分方程式Ⅰ	2前		2							1	
	確率・統計Ⅰ	2前		2							1	
	ベクトル解析	2前		2							1	
	フーリエ解析	2後		2							1	
	数値解析学	2前		2							1	
	複素解析学Ⅰ	3前		2							1	
専門教育科目	インターンシップ	3・4通		2		1						
	ワークショップⅡ	1後		2		1			1			
	アドバンスワークショップ	3後		1		6	2					2
	電子システム工学入門	1前		2		6	2					2
	電気回路基礎	1後	2			1						
	電磁気学Ⅰ	2前	2			1	1					
	電磁気学Ⅱ	2後	2			1						1
	電磁気学Ⅲ	3前		2								1
	電気回路Ⅰ	2前	4			1						
	電気回路Ⅱ	2後		2		1						
	回路解析	3前		2		1						
	電子回路Ⅰ	2後	2									1
	電子回路Ⅱ	3前		2								1
	論理回路設計	2後		2								1
	論理システム設計	3前		2		1			1			
	電子計測	2後		2		1						
	自動制御	3前		2			1					
	半導体物理基礎	2前		2		1						
	量子物理学	2後		2		1						
	電子・光材料	3前		2					1		0	
電子デバイスⅠ	3前		2			1						
電子デバイスⅡ	3後		2		1							
プログラミング基礎	1後		4						1		1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎共通科目	微分積分学および演習Ⅱ	1後		4								6
	線形代数学Ⅱ	1後		2								5
	微分方程式Ⅰ	2前		2							1	
	確率・統計Ⅰ	2前		2							1	
	ベクトル解析	2前		2							1	
	フーリエ解析	2後		2							1	
	数値解析学	2前		2							1	
	複素解析学Ⅰ	3前		2							1	
専門教育科目	インターンシップ	3・4通		2		1						
	ワークショップⅡ	1後		2		0	1		1			2
	アドバンスワークショップ	3後		1		6	2		1			2
	電子システム工学入門	1前		2		6	2		1			2
	電気回路基礎	1後	2			1						
	電磁気学Ⅰ	2前	2			1	1					
	電磁気学Ⅱ	2後	2			1						1
	電磁気学Ⅲ	3前		2								1
	電気回路Ⅰ	2前	4			1						
	電気回路Ⅱ	2後		2		1			0			1
	回路解析	3前		2		1			0			1
	電子回路Ⅰ	2後	2									1
	電子回路Ⅱ	3前		2								1
	論理回路設計	2後		2								1
	論理システム設計	3前		2		1			1			
	電子計測	2後		2		1						
	自動制御	3前		2			1					
	半導体物理基礎	2前		2		1						
	量子物理学	2後		2		1						
	電子・光材料	3前		2					1		0	
電子デバイスⅠ	3前		2			1						
電子デバイスⅡ	3後		2		1							
プログラミング基礎	1後		4						1		1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
専門教育科目	木材加工	2前			1							1
	栽培	2前			1							1
	職業指導	3前			2							1
	工業技術概論	3後			2							2
小計(67科目)			-	32	98	10	6	2	0	2	0	39
合計(157科目)			-	52	230	10	6	2	0	2	0	205
卒業要件及び履修方法												
人間科学科目16単位(技術者教養2単位、グローバル教養2単位を含む)以上、工学基礎科目20単位以上、英語科目8単位以上、専門科目76単位以上、任意選択科目4単位を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限48単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
専門教育科目	木材加工 (未開講)	2前			1							1
	栽培 (未開講)	2前			1							1
	職業指導	3前			2							1
	工業技術概論	3後			2							2
	機械のしくみ	2前			1	1						
小計(68科目)			-	32	98	11	6	2	0	2	0	39
合計(159科目)			-	52	232	11	6	2	0	2	0	236
卒業要件及び履修方法												
人間科学科目16単位(技術者教養2単位、グローバル教養2単位を含む)以上、工学基礎科目20単位以上、英語科目8単位以上、専門科目76単位以上、任意選択科目4単位を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限48単位(年間))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・担当者変更の理由により、「フレッシュマンセミナー」の配置を「兼任・兼任17」から「兼任・兼任14」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「文章表現法」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「哲学と倫理の基礎」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「トリムスポーツⅠ」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任13」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「トリムスポーツⅡ」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任13」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「アウトドアスポーツA」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「アウトドアスポーツB」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「アウトドアスポーツC」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎物理学A」の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任7」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎物理学B」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「物理実験」の配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任11」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎化学」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任23」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「化学・生物実験」の配置を「兼任・兼任14」から「兼任・兼任21」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論A」の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任3」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論B」の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論C」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論D」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論F」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任11」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータリテラシー」の配置を「教授0」から「教授1」、「兼任・兼任8」から「兼任・兼任9」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータプログラミングⅠ」の配置を「教授0」から「教授1」、「兼任・兼任9」から「兼任・兼任18」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼任12」から「兼任・兼任20」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任17」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼任12」から「兼任・兼任18」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任14」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「国内英語短期研修」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者退職の理由により、「日本事情B」の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「プログラミング基礎」の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「微分積分学および演習Ⅱ」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任6」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「線形代数学Ⅰ」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・教育の充実のため、「電気電子キャリア演習」の配置を「教授2」から「教授3」に変更および、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「線形代数学Ⅰ」の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任25」へ変更。

【平成30年度】

- ・担当者変更の理由により、「フレッシュマンセミナー」の配置を「兼任・兼任14」から「兼任・兼任13」へ変更。
- ・教育の充実のため、「ドイツ語・ドイツ文化」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・教育の充実のため、「人間科学プロジェクト」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任7」へ変更。
- ・教育の充実のため、「アメリカ理解」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「微分積分学および演習Ⅰ」の配置を「兼任・兼任21」から「兼任・兼任20」へ変更。
- ・教育の充実のため、「微分積分学および演習Ⅰ」の配当期を「1前」から「1前・後」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「線形代数学Ⅰ」の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任17」へ変更。
- ・教育の充実のため、「線形代数学Ⅰ」の配当期を「1前」から「1前・後」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「線形代数学Ⅰ」の配置を「兼任・兼任25」から「兼任・兼任17」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎物理学A」の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任6」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「基礎化学」の配置を「兼任・兼任23」から「兼任・兼任16」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「化学・生物実験」の配置を「兼任・兼任21」から「兼任・兼任24」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論F」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任14」へ変更。
- ・教育の充実の理由により、「自然科学概論G」(配当年次:1・2前・後、単位数:選択2単位)を新設し、「兼任・兼任7」を配置。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータリテラシー」の配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任10」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータプログラミングⅠ」の配置を「兼任・兼任18」から「兼任・兼任19」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼任20」から「兼任・兼任28」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼任17」から「兼任・兼任21」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼任18」から「兼任・兼任28」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼任14」から「兼任・兼任21」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅲ」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任22」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「総合英語Ⅳ」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任22」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習B」の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者退職の理由により、「英語演習H」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「国内英語短期研修」の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者都合の理由により、「ワークショップ」の配置を「助教2」から「助教1」へ変更。
- ・専任教員退職の理由により、「ワークショップ」の配置を「教授1」から「教授0」に変更および「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・専任教員退職の理由により、「ワークショップⅡ」の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・専任教員退職の理由および教育充実のため、「ワークショップⅡ」の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・専任教員昇任の理由により、「ワークショップⅡ」の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・教育充実のため、「アドバンストワークショップ」の配置を「助教0」から「助教1」へ変更。
- ・教育の充実のため、「電子システム工学入門」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員退職の理由により、「電気回路Ⅱ」の配置を「教授1」から「教授0」に変更および「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・専任教員退職の理由により、「回路解析」の配置を「教授1」から「教授0」に変更および「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・専任教員昇任の理由により、「電子・光材料」の配置を「助教1」から「助教0」および「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員昇任の理由により、「自動制御」「ロボット工学」の配置を「准教授1」から「准教授0」、「教授0」から「教授1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「マイクログロブレス応用」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」、「教授0」から「教授1」に変更。
- ・専任教員昇任の理由により、「電子システム工学基礎実験Ⅱ」の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員昇任の理由および担当者変更の理由により、「電子システム工学実験Ⅰ」の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員昇任の理由および教育の充実のため、「電子システム工学実験Ⅱ」の配置を「教授0」から「教授2」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「技術英語」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「ビジネス英語」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「プレゼンテーションⅡ」の配置を「教授1」から「教授0」、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教職課程認定のため文部科学省の指導により、「機械のしくみ」(配当年次:2前、単位数:自由1単位)の科目を追加。当該科目の配置は「教授1」とする。

【令和元年度】

- ・担当者変更の理由により、「フレッシュマンセミナー」の配置を「兼任・兼任13」から「兼任・兼任8」へ変更。
- ・教育の充実のため、「東京電機大学で学ぶ」の配置を「教授0」から「教授1」、「助教0」から「助教1」、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任5」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「人間科学プロジェクト」の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・教育充実のため、「哲学と倫理の基礎」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」へ変更。
- ・教育の充実のため、「地球環境論」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・教育の充実のため、「国際政治の基礎」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者退職の理由により、「中国語・中国文化」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・担当者変更及び担当者追加の理由により、「微分積分学および演習」の配置を「兼任・兼任20」から「兼任・兼任21」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「物理実験」の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任10」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「化学・生物実験」の配置を「兼任・兼任24」から「兼任・兼任28」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論D」の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任2」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「自然科学概論F」の配置を「兼任・兼任14」から「兼任・兼任13」へ変更。
- ・教育の充実のため、「自然科学概論G」の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任8」へ変更。
- ・担当者変更及び担当者追加の理由により、「線形代数学Ⅱ」の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任6」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータリテラシー」の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「コンピュータプログラミングⅠ」の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」、「兼任・兼任19」から「兼任・兼任18」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅰ」の配置を「兼任・兼任21」から「兼任・兼任20」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「口語英語Ⅱ」の配置を「兼任・兼任21」から「兼任・兼任20」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習A」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任6」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習B」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習C」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習D」の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任5」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習E」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習F」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任5」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「英語演習G」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」へ変更。
- ・担当者変更の理由により、「ワークショップ」の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「ワークショップⅡ」の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当者退職の理由により、「電磁気学Ⅱ」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更および「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・教育の充実のため、「アドバンストワークショップ」の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・教育の充実のため、「電子システム工学入門」の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・教育の充実のため、「電子システム工学基礎実験Ⅰ」の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「電子システム工学基礎実験Ⅱ」の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「電子システム工学実験Ⅱ」の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当者退職の理由により、「電気電子キャリア演習」の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「プレゼンテーションⅠ」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「プレゼンテーションⅡ」の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・担当者の変更の理由により、「工業技術概論」の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」へ変更。
- ・教職課程認定のため文部科学省の指導により、「加工学基礎」(配当年次:2前、単位数:自由2単位)の科目を追加。当該科目の配置は「兼任・兼任1」とする。
- ・教育の充実のため、「光通信工学」の配当年次を「4前」から「3・4前」に変更。
- ・教育の充実のため、「光情報処理」の配当年次を「4後」から「3・4後」に変更。
- ・教育の充実のため、「電磁気学Ⅱ」の配当年次を「2後」から「2後、3・4前後」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
23 科目	128 科目	6 科目	157 科目	23 科目 [0]	129 科目 [1]	8 科目 [2]	160 科目 [3]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{157} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	東京電機大学								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度		
工学部	4	610	—	2,440	—	1.11	—	—	東京都足立区千住旭町5番	定員変更(△90) 学科の設置(届出)(90) 平成29年度より学生募集停止(△80)
電気電子工学科	4	120	—	480	学士(工学)	1.10	平成29	平成19		
電子システム工学科	4	90	—	360	学士(工学)	1.10	平成29	平成29		
環境化学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	平成19		
応用化学科	4	80	—	320	学士(工学)	1.10	平成29	平成29		
機械工学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.07	平成29	平成19		
先端機械工学科	4	100	—	400	学士(工学)	1.12	平成29	平成29		
情報通信工学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.13	—	平成19	千葉県印西市武西学園台2-1200	定員変更(△100) 学科の設置(届出)(100)
工学部第二部	4	180	—	720	—	1.13	—	—		
電気電子工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.14	平成30	平成20		
機械工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.06	平成30	昭和37		
情報通信工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.19	平成30	昭和36	東京都足立区千住旭町5番	定員増(10) 2年次編入学定員(△2) 3年次編入学定員(△2) 定員増(10) 2年次編入学定員(△2) 3年次編入学定員(△2) 定員増(10) 2年次編入学定員(△2) 3年次編入学定員(△2)
理工学部	4	600	—	2,400	—	1.10	—	—		
理工学科	4	600	—	2,400	学士(理学) 学士(工学) 学士(情報学)	1.10	—	平成19	埼玉県比企郡鳩山町石坂	
情報環境学部	4	—	—	—	—	—	—	—	東京都足立区千住旭町5番	
情報環境学科	4	—	—	—	学士(情報環境学)	—	—	平成18	千葉県印西市武西学園台2-1200	平成29年度より学生募集停止(△240)
未来科学部	4	350	—	1,400	—	1.10	—	—	東京都足立区千住旭町5番	定員変更(30)
建築学科	4	130	—	520	学士(工学)	1.09	平成29	平成19	千葉県印西市武西学園台2-1200	定員変更(△15) 定員変更(△15)
情報メディア学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.12	平成29	平成19		
ロボット・メカトロニクス学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.08	平成29	平成19		
システムデザイン工学部	4	240	—	960	—	1.12	—	—	東京都足立区千住旭町5番	学部の設置(届出)
情報システム工学科	4	130	—	520	学士(工学)	1.14	平成29	平成29	千葉県印西市武西学園台2-1200	(130) (110)
デザイン工学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.09	平成29	平成29		
大学全体	4	1,980	—	7,920	—	—	—	—	—	

大学の名称	東京電機大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度		
大学院工学研究科修士課程	2	170	—	340	—	0.93	—	—	東京都足立区千住旭町5番	
電気電子工学専攻	2	60	—	120	修士(工学)	0.98	—	平成21		
物質工学専攻	2	25	—	50	修士(工学)	1.02	—	平成3		
機械工学専攻	2	55	—	110	修士(工学)	0.99	—	平成13		
情報通信工学専攻	2	30	—	60	修士(工学)	0.66	—	平成2		
大学院理工学研究科修士課程	2	122	—	244	—	0.93	—	—	埼玉県比企郡鳩山町石坂	
理学専攻	2	15	—	30	修士(理学)	0.76	—	平成21		
生命理工学専攻	2	25	—	50	修士(工学)	1.14	—	平成21		
情報学専攻	2	35	—	70	修士(情報学)	0.95	—	平成21		
電子・機械工学専攻	2	35	—	70	修士(工学)	0.95	—	平成25		
建築・都市環境学専攻	2	12	—	24	修士(工学)	0.66	—	平成25		
大学院情報環境学研究科修士課程	2	40	—	80	—	0.66	—	—	東京都足立区千住旭町5番	
情報環境学専攻	2	40	—	80	修士(情報環境学)	0.66	—	平成21	千葉県印西市武西学園台2-1200	
大学院未来科学研究科修士課程	2	145	—	290	—	0.91	—	—	東京都足立区千住旭町5番	
建築学専攻	2	60	—	120	修士(工学)	0.73	—	平成21		
情報メディア学専攻	2	35	—	70	修士(工学)	0.92	—	平成21		
ロボット・メカトロニクス学専攻	2	50	—	100	修士(工学)	1.13	—	平成21		
大学院先端科学技術研究科博士課程(後期)	3	32	—	96	—	0.32	—	—	東京都足立区千住旭町5番 埼玉県比企郡鳩山町石坂 千葉県印西市武西学園台2-1200	
数理学専攻	3	3	—	9	博士(理学)	0.22	—	平成18		
電気電子システム工学専攻	3	5	—	15	博士(工学)	0.13	—	平成18		
情報通信メディア工学専攻	3	5	—	15	博士(工学)	0.26	—	平成18		
機械システム工学専攻	3	5	—	15	博士(工学)	0.40	—	平成18		
建築・建設環境工学専攻	3	3	—	9	博士(工学)	0.44	—	平成18		
物質生命理工学専攻	3	3	—	9	博士(工学) 博士(理学)	0.44	—	平成18		
先端技術創成専攻	3	5	—	15	博士(工学) 博士(理学)	0.40	—	平成18		
情報学専攻	3	3	—	9	博士(情報学)	0.44	—	平成18		
大学院全体	—	509	—	1,050	—	—	—	—		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (平成28年)	該 当 な し		
設 置 計 画 履 行 状 況 調 査 時 (平成29年)	・ システムデザイン工学部情報システム工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改 善 意 見	・ 退職年齢を超える者の後任人事については、学科において、当該科目分野を担当するにふさわしい教員の選考を行い、年齢構成のバランスを考慮した人材の確保に努めている。 また、平成30年度から、専任教員人事計画(新中期計画)を策定し、新中期計画を踏まえ、年次計画(教員採用計画・配置計画)を大学評議会において審議・承認した上で、教員採用を行うことで、教員組織編成の適正化を図る。
設 置 計 画 履 行 状 況 調 査 時 (平成29年)	・ 工学部先端機械工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改 善 意 見	・ 退職年齢を超える者の後任人事については、学科において、当該科目分野を担当するにふさわしい教員の選考を行い、年齢構成のバランスを考慮した人材の確保に努めている。 また、平成30年度から、専任教員人事計画(新中期計画)を策定し、新中期計画を踏まえ、年次計画(教員採用計画・配置計画)を大学評議会において審議・承認した上で、教員採用を行うことで、教員組織編成の適正化を図る。
設 置 計 画 履 行 状 況 調 査 時 (平成30年)	該 当 な し		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学部 電子システム工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ 教育改善推進委員会
- ・ 教学委員会
- ・ 工学部運営委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 教育改善推進委員会は年2回程度開催（教員委員14名、事務職員委員2名が参加）
- ・ 教学委員会は月1回開催（教員委員14名、事務職員委員2名が参加）
- ・ 工学部運営委員会は月1回開催（教員委員12名が参加）

c 委員会の審議事項等

- ・ 教育改善推進委員会
教育活動の評価・改善（方策）、ファカルティ・ディベロップメント（FD）の活動状況と成果、その他教育改善に関する事項
- ・ 教学委員会
学部の教育方針、カリキュラム・時間割、教務等に関する事項
- ・ 工学部運営委員会
将来計画、入学試験、教務、学生厚生及び賞罰、自己点検・評価等に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ シラバスの作成
- ・ FD/SDセミナー
- ・ ステークホルダーアンケート（本学の課題）
- ・ 新任教員オリエンテーション

b 実施方法

- ・ シラバスは統一されたフォーマットに基づき作成し、第三者評価を行う。
- ・ FD/SDについては、教育改善推進室を中心に、組織的かつ全学的な活動を展開している。
- ・ ステークホルダーアンケートは、全学的に実施し、卒業年次生・新入生・父母等の満足度を調査する。
- ・ 新任教員オリエンテーションは、新規採用教員を対象に教員としての心構え、職務内容等について研修を行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ シラバスの作成については、全科目において行う。
- ・ 平成30年度のFD/SDセミナーは、教育改善推進室等において全7回開催し、延べ914人の参加があった。
- ・ ステークホルダーアンケートについては、卒業年次生・新入生・父母等の満足度を調査することにより学部の課題を抽出し教授会で報告する。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ シラバスについては、第三者評価により、記載内容や達成目標等の点検を行い、授業改善に反映させる。

- ・ FD/SDセミナーにより、PBL科目の推進、他の教育機関との連携、知の公開を図り、授業改善及び教育の質の向上に資する。
- ・ ステークホルダーアンケート結果は、教授会で報告し、教育改善推進委員会において精査し、学科・系列において具体的な改善方を策定する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 授業評価アンケートは毎年度前期及び後期の2回実施する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業評価アンケートについては、その結果を担当教員にフィードバックし、各担当教員が必要な改善を行う。また、ホームページにおいて学生への公開を行う。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

電子システム工学科は、電気電子工学を基礎として、光工学、情報工学を含む総合的な知識と技術を有し、安全で快適な社会の発展に貢献することのできる思考力と創造力豊かで応用力を有する人材を養成する。

すなわち、電気電子工学とその関連分野を基礎から応用まで系統的に学ばせるとともに、低学年次から配当される多彩な実験科目・実習科目を通じて、実社会で活躍できる課題解決力、コミュニケーション能力およびプレゼンテーション力を涵養することを目的として設置した。

本学科では、人材養成の目的を達成するため、電気電子分野の現代的ニーズを意識した幅広い専門科目を用意し、講義、演習、実験、実習を体系的に配置している。また、成績優秀者や学習意欲の高い学生には、大学院の先取り科目を設置するとともに、各種の資格取得を目指す学生には、資格関連科目を配置している。専門知識と専門技能を活用して課題解決ができる能力を培うために、多数の実験・実習・ワークショップ科目を配置しており、学生の専門性を高めるための教育課程編成がなされていることは評価できる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和元年8月末頃 公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和元年8月末頃を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和5年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （令和元年8月末頃 公表予定）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。